PUSTA



株式会社 パスター

Public Space Technical Art

PUS

公共空間に技術と芸術を提供する

ごあいさつ

平素は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、景観資材メーカーとして製品の開発･製造･販売･施行まで一貫した専門メーカーとして、日々研鑽を重ねております。

現在、全国各地に多くの納入実績を作ることが出来ました。これも一重に関係各位のご協力の賜ものと感謝しております。今後におきましても専門メーカーとして、お客様に安心してお取引頂ける企業として、社員一同鋭意努力を重ねて参ります。

皆様には今後共、変わらぬご指導を賜ります様、お願い申し上げます。






T A

誰もが快適に過ごせる未来を担って





株式会社 パスター
Public Space Technical Art

Contents

納入実績(橋梁用防護柵・高欄)・・・・・P2～P7
納入実績(芳雄橋)・・・・・・・・・・・・・P8～P11
防護柵設置基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
橋梁用防護柵・高欄 ・・・・・・・・・・P13～P17
投下防止柵 ・・・・・・・・・・・・・・・・P18～P19
橋梁用防護柵・高欄 ・・・・・・・・・・P20～P31
補助手摺・・・・・・・・・・・・・・・・・・P32～P34
手すり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P35
納入実績(下水道事業団) ・・・・・・P36～P37
下水道事業団型手すり ・・・・・・・・P38～P49
防護柵(街路柵)・・・・・・・・・・・・・P40～P41
キャップ、色バリエーション・・・・・P42～P43
防護柵 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P44～P49
車止め ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P50～P53
ベンチテーブル ・・・・・・・・・・・・P54～P55
フェンス・門扉 ・・・・・・・・・・・・・P56～P57
遮断機 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P58
積荷転落防止柵・・・・・・・・・・・・・・・・・P59
カーブミラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P60
ポール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P61
エコウッド ・・・・・・・・・・・・・・・P64～P67
エコウッド(実績)・・・・・・・・・・・・P68～P73
木道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P74～P81
シェルター ・・・・・・・・・・・・・・・P82～P83



実績

年月	県名	商品名	橋長	役所名	橋梁名
H15・2	福岡県	アルミ製デザイン高欄	32.6m	福岡県北九州市役所	力丸駅自由通路
H15・2	福岡県	アルミ高欄	500m	福岡県福知山ダム事務所	福知山ダム
H15・2	福岡県	RTA-2C-85（アルミ高欄）	298.6m	福岡県北九州市役所	曽根漁港上部工（1工区）
H15・2	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	75m	関東地方整備局下館工事事務所	吉練瀬川水門
H15・2	福岡県	鋼製高欄	15.8m	福岡県飯塚農林事務所	ふるさと農道整備
H15・3	長崎県	アルミ高欄	220m	長崎県つづらダム事務所	つづらダム
H15・3	鹿児島県	RT-3B-85,100（鋳鉄製）	216m	鹿児島県加治木土木事務所	重久1号橋
H15・3	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	38.6m	関東地方整備局下館工事事務所	樋管ゲート設備応急対策工事
H15・4	福岡県	RTA-2C-85（アルミ高欄）	396.4m	福岡県北九州市役所	曽根漁港上部工（2工区）
H15・5	高知県	RT-3C-85（鋳鉄製）	27.3m	高知県本山土木事務所	石楠公園線緊急道路整備
H15・5	大阪府	RTC-20-11（アルミ製）	50.48m	大阪府寝屋川市役所	豊中幹線水路工事
H15・5	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	80m	関東地方整備局下館工事事務所	下館排水樋管新設工事
H15・6	高知県	RT-3C-85N（鋳鉄製）	484m	高知県中央東耕地事務所	仙頭大橋橋梁上部工工事
H15・6	鹿児島県	RT-3C-75N（鋳鉄製）	50.9m	鹿児島県宮之城土木事務所	特殊改良三種工事
H15・7	長崎県	アルミ高欄	109.9m	長崎県壱岐支庁	門野田ダム建設工事
H15・8	福岡県	RT-3C-75N（鋳鉄製）	126m	福岡県飯塚土木事務所	口の春橋橋梁架替工事
H15・8	熊本県	RT-3C-85（鋳鉄製）	72.2m	熊本県上益城地域振興局	益城矢部線道路改築工事
H15・9	鹿児島県	RT-3C-75・RTSF1-20-10（鋳鉄製）	215m	鹿児島県川内耕地事務所	はたる大橋
H15・9	和歌山県	RT-3B-75,100（鋳鉄製）	309m	和歌山県有田振興局	国道480号道路改築工事
H15・9	鳥取県	RT-3BT-75,100（鋳鉄製）	123m	木次土木事務所	大原橋上部工工事
H15・9	奈良県	RT-3BT1-85（鋳鉄製）	450m	奈良県五条土木事務所	今井大橋橋梁工事
H15・9	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	30m	関東地方整備局下館工事事務所	北大塚樋管ゲート新設工事
H15・10	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	110m	関東地方整備局下館工事事務所	石井管内ゲート新設工事
H15・11	滋賀県	RT-3C-85（鋳鉄製）	140m	水資源開発公団	妙理谷6号橋上部工工事
H15・12	長崎県	アルミ高欄	18m	長崎県壱岐支庁	野中橋上部工工事
H15・12	福岡県	RT-3C-85N（鋳鉄製）	23m	福岡市早良区役所	北田橋改築工事
H16・1	福岡県	RT-3C-75,100（鋳鉄製）	160m	福岡県福築町役場	茶屋の元橋上部工工事
H16・2	鹿児島県	RT-4B-100N（鋳鉄製）	153m	国土交通省鹿児島国道事務所	阿久根・市来管内防護柵設置
H16・2	東京都	RTD-12-11（アルミ製）	30m	関東地方整備局下館工事事務所	下田中ゲート新設工事
H16・3	福岡県	RT-3B-100（鋳鉄製）	189m	福岡県直方土木事務所	滝ノ巣橋改良工事
H16・3	福岡県	RTC-20-11（アルミ製）	60m	国土交通省北九州国道事務所	感田歩道橋新設工事
H16・3	福岡県	アルミ高欄	110m	福岡県北九州土木事務所	歩道橋設置工事
H16・3	沖縄県	アルミ高欄	30m	沖縄県那覇市役場	前島橋上部工工事
H16・4	鹿児島県	RT-3C-75,100（鋳鉄製）	26m	鹿児島県知覧町役場	流合橋新設工事

年 月	県 名	商 品 名	橋 長	役 所 名	橋 梁 名
H16・4	和歌山県	RT - 3C - 85（鋳鉄製）	150m	和歌山県西牟婁振興局	小川6号橋
H16・5	岡山県	アルミ高欄	200m	岡山県	河平ダム建設工事
H16・5	福岡県	RTSF1 - 20 - 10（鋳鉄製）	132m	福岡県柳川土木事務所	橋梁整備工事
H16・9	島根県	アルミ横断転落防止柵	3400m	中国地方整備局	江島大橋橋梁橋面工事
H16・9	沖縄県	RTA - 4BT - 100（アルミ高欄）	360m	沖縄県北部土木事務所	本部南大橋橋梁整備（その1）
H16・9	沖縄県	RTA - 4BT - 100（アルミ高欄）	360m	沖縄県北部土木事務所	本部南大橋橋梁整備（その2）
H16・9	鹿児島県	RT - 3B - 85,100（鋳鉄製）	222m	鹿児島県加治木土木事務所	三船橋橋梁整備工事
H16・9	福岡県	エコウッド高欄	145m	福岡県北九州市役所	槻田川防護柵補修工事
H16・10	福岡県	RTSF1 - 20 - 10（鋳鉄製）	74m	福岡県甘木土木事務所	夜須公園歩道橋新設工事
H16・11	長崎県	アルミ高欄	188.5m	長崎県対馬支庁	小浦ダム建設工事
H16・11	東京都	RTD - 12 - 11（アルミ製）	107.4m	荒川上流河川事務所	大谷川工事橋門新設工事
H16・12	熊本県	RT - 3B - 75,100（鋳鉄製）	318m	熊本県阿蘇地域振興局	小田橋高欄工工事
H16・12	長崎県	RT - 2C - 75N（鋳鉄製）	60m	長崎県瑞穂町役場	瑞穂町高欄
H16・12	大分県	RT - 3B - 75N（鋳鉄製）	64m	大分県	釘戸橋
H16・12	福岡県	RT - 3B - 75,100（鋳鉄製）	170m	国土交通省遠賀川工事事務所	大隈橋
H16・12	千葉県	アルミ高欄	400m	千葉県企業庁	山倉橋
H16・12	福岡県	アルミ製車両用防護柵	100m	福岡県北九州市役所	曽根漁港
H17・1	沖縄県	RTA - 4BT - 100（アルミ高欄）	280.44m	沖縄県北部土木事務所	屋部2号橋橋梁整備工事
H17・1	沖縄県	投下防止フェンス	48m	沖縄県北部土木事務所	屋部2号橋橋梁整備工事
H17・1	長崎県	RT - 3B - 85（鋳鉄製）	327m	長崎県	高野橋
H17・1	沖縄県	アルミ高欄	243m	沖縄県那覇市役所	天久公園整備工事（その4）
H17・1	福岡県	鋳鉄製高欄	480m	福岡県飯塚土木事務所	筑豊緑地第二歩道橋
H17・1	茨城県	アルミ高欄	75m	国土交通省常陸国道河川事務所	渡里排水樋管ゲート設備工事
H17・1	福岡県	RT - 3B - 85（鋳鉄製）	16m	福岡県飯塚農林事務所	ふるさと林道緊急整備工事
H17・2	福岡県	RT - 4BT - 100N（鋳鉄製）	133m	国土交通省北九州国道事務所	西大橋
H17・2	福岡県	エコウッド高欄	40m	福岡県桂川町役場	島巡り橋
H17・2	茨城県	アルミ高欄	60m	国土交通省北九州国道事務所	邑楽排水樋管ゲート
H17・2	沖縄県	アルミ高欄	262m	沖縄県那覇市役所	天久公園整備工事（土木3）
H17・2	福岡県	RT - 3C - 75,100（鋳鉄製）	60m	福岡県飯塚土木事務所	有井橋
H17・3	福岡県	RT - 4B - 100N（鋳鉄製）	33m	福岡県直方土木事務所	鴻ノ巣橋改良工事
H17・4	沖縄県	RTA - 2BT - 85（アルミ製）	63.5m	沖縄県八重山支庁	相良橋橋梁補修工事
H17・4	福岡県	エコウッド高欄	145m	福岡県北九州市役所	槻田川防護柵補修工事
H17・4	福岡県	RT - 3C - 85（鋳鉄製）	36m	福岡県飯塚土木事務所	切畑橋
H17・5	和歌山県	RT - 3B - 85（鋳鉄製）	160m	和歌山県東牟婁振興局	上長井橋





実績

年 月	県 名	商 品 名	橋 長	役 所 名	橋 梁 名
H17・6	鹿児島県	RT - 3C1 - 85（鋳鉄製）	62m	鹿児島県薩摩川内市役所	松崎橋上部工工事
H17・8	宮崎県	RT - 3C - 85（鋳鉄製）	40m	宮崎県延岡土木事務所	前田川河川改修工事
H17・9	東京都	RTC - 12 - 11BP（アルミ製）	45m	荒川上流河川事務所	大木排水樋管ゲート新設
H17・9	東京都	RTD - 12 - 11BP（アルミ製）	60m	荒川上流河川事務所	姥川排水樋管ゲート新設
H17・10	沖縄県	RTEW - 20 - 8BP	15m	沖縄県佐敷町役場	月代橋補修工事
H17・11	石川県	RT - 3CT - 85(鋳鉄製)	220m	石川県門前町役場	上和田橋
H17・12	鹿児島県	RT - 2CT - 85(鋳鉄製)	100m	鹿児島県大隅土木事務所	第十二跨線橋
H17・12	埼玉県	RTD - 12 - 11BP（アルミ製）	45m	関東地方整備局	東和田排水樋管ゲート
H17・12	沖縄県	RTA - 2CT - 85・3CT - 100	192m	沖縄県北部土木事務所	ワルミ小橋橋面工工事
H17・12	和歌山県	RT - 3C - 85（鋳鉄製）	250m	和歌山県東牟婁振興局	上長井橋
H18・1	埼玉県	RT - 2C - 75（鋳鉄製）	264m	埼玉県川越県土整備事務所	橋梁修繕工事(初雁橋1工区)
H21・12	大分県	RT - 3B - 85	36m	大分県日田市	市道程野線上部工工事
H21・12	宮城県	鋼製高欄	71.4m	東日本旅客鉄道株式会社	小牛田・南郷線道路改良工事
H21・12	沖縄県	RTA - 3CT - 100BP	73m	沖縄県南部土木事務所	饒波川河川改修工事（清原橋）
H21・12	長崎県	RT - 3C - 85N	11m	長崎県島原振興局	西之浦橋
H21・12	長崎県	RT - 3C - 85N	73.8m	長崎県島原振興局	新田橋
H21・12	長崎県	RT - 3C - 85N	39.9m	長崎県島原振興局	境川橋
H21・12	広島県	RTP1 - 25 - 3.5	297m	仁賀ダム本体工事事務所	仁賀ダム本体建設工事
H22・2	沖縄県	RTA - 2C - 75,RTA - 3CT - 100	79.6m	沖縄県中部土木事務所	3.4.8号パイプライン線改良工事
H22・2	沖縄県	アルミ高欄＋投下防止フェンス	183.8m	沖縄県宜野湾市教育委員会	志真志小学校通学路整備工事
H22・2	鹿児島県	鋼製高欄	585m	鹿児島県薩摩川内市役所	久住・長野線橋梁災害復旧工事
H22・2	沖縄県	RTH - 25 - 10BP	44.8m	沖縄県中部土木事務所	塩屋橋補修工事
H22・2	福岡県	鋳鉄高欄	79.2m	福岡県北九州市	一般国道495号道路改良工事
H22・2	福岡県	落下防止装置	54 基	福岡県北九州市八幡東区役所	高見3号線落橋防止装置設置工
H22・2	京都府	鋼製高欄	73.4m	京都府丹後土木事務所	大手川河川改良受託1工事
H22・3	福岡県	投下防止フェンス	387.5m	福岡県北九州市	穴生水巻線防護柵設置工事
H22・3	愛知県	アルミ高欄	140m	愛知県名古屋国道事務所	22号伝法寺歩道橋
H22・3	愛知県	鋼製高欄＋ハンドレール	172m	――――	成岩高架橋上部工工事
H22・3	福岡県	RT - 3C - 75N	9.9m	福岡県北九州市	宮の町小熊1号線歩道設置工事
H22・3	栃木県	アルミ高欄	30.7m	栃木県栃木土木事務所	水門設置工事思川その5工事
H22・3	三重県	RT（特）- 25 - 430	131.6m	――――	六部橋側道橋
H22・4	鳥取県	アルミ高欄	91m	鳥取県	長清水橋
H22・6	沖縄県	RTC - 25 - 9BP	94.7m	沖縄県糸満市役所	報得川人道橋改修工事
H22・7	福岡県	RT - 4BT - 100N,RT - 3B - 75N	268.9m	国土交通省北九州国道事務所	福岡10号線祓川橋床版工事

年 月	県 名	商 品 名	橋 長	役 所 名	橋 梁 名
H22・8	沖縄県	アルミ高欄	23.4m	沖縄県北部国道事務所	恩納バイパス舗装工事
H22・8	東京都	アルミ高欄，落下防止柵	1855m	東京都港湾局	東京湾臨海道路橋梁面工事
H22・9	熊本県	錆鉄高欄	16m	熊本県芦北地域振興局	芦北球磨線橋梁補修工事
H22・9	沖縄県	RTC－15－11	33.5m	――――	名護漁港
H22・9	福岡県	アルミ高欄，投下防止柵	44m	香椎駅周辺土地区画整備	国道3号道路改良（御島歩道橋）
H22・10	福岡県	落橋防止装置	36基	北九州市八幡東区まちづくり課	八王子町2号橋
H22・10	東京都	アルミ高欄＋投下防止フェンス	78.2m	東京都立川市都市整備部道路課	立川橋
H22・11	福岡県	RTEW－20－10BP	20m	福岡県北九州市	撥川橋梁
H22・12	沖縄県	投下防止フェンス	64.3m	沖縄県中部土木事務所	沖縄県環状線安全施設設置工事
H23・1	沖縄県	RTA－2C－750BP	520m	沖縄県北部土木事務所	国道331号橋梁耐震補修工事
H23・1	沖縄県	車両用高欄＋落下物防止柵	1606m	沖縄県総合事務局　南部国道事務所	若狭高架橋付属施設設置工事
H23・2	岐阜県	アルミ高欄 BP	163.5m	――――	市道出会い橋線改修工事
H23・2	福岡県	錆鉄高欄	77.9m	福岡県飯塚県土事務所	ふれあい橋歩道拡張工事
H23・2	山口県	アルミ高欄＋落下物防止柵	77.4m	山口県	大田給堂道路道路改良工事
H23・2	栃木県	アルミ高欄	20m	国土交通省関東地方整備局	須賀排水樋管
H23・2	福岡県	RT－3BC－75N	135.9m	福岡県飯塚県土事務所	天神橋
H23・3	栃木県	RTD－12－11BP	8・1m	鬼怒川南部土地改良区連合	制水門工事
H23・3	沖縄県	RTC-20-11　シルバー	130 m	八重山土木事務所	上地港
H23・3	福岡県	RT-4C-100N（メッキ）	41.18 m	南筑後県土整備事務所	金納橋
H23・3	岡山県	アルミ高欄	391.8 m	岡山国道事務所	十日市横断歩道橋
H23・3	熊本県	錆鉄高欄　（メッキ）	69 m	天草地域振興局	第二早浦橋
H23・3	熊本県	錆鉄高欄　メッキ＋塗装	115.7 m	阿蘇地域振興局	小屋場橋
H23・3	沖縄県	車輌用　（RTA-2C-75）	17.9 m	中部土木事務所	パイプライン
H23・4	福岡県	RTH-25-10BP（シルバー）	29.95 m	北九州市役所	篠崎大橋
H23・5	神奈川県	高欄等	1 式	鎌倉市役所（拠点整備部）	大船駅ペデストリアンデッキ階段部
H23・8	東京都	アルミ製高欄　RTC-20-11BP門扉	3基	東京都	国士館前アルミ高欄改良河川維持工事
H23・8	福岡県	錆鉄高欄　SK-3C-100SPKN	9.756 m	北九州市役所	割子川橋
H23・8	沖縄県	RTD-25-10　BP	18.05 m	北部土木	友利1号橋
H23・9	大分県	アルミ高欄　RTD-H800（SS製メッキ）	7.4 m	宮古土木事務所	大分県　あぞう大橋
H23・9	栃木県	アルミ防護柵　RTD-1100	1 式	国土交通省　江戸川河川事務所	H22昭和排水樋管改築工事
H23・9	長崎県	RTO-3BL-85	1 式	対馬支庁	対馬市浅原小茂田線
H23・9	滋賀県	落下物防止柵　アルミ H=1200	63.31 m	滋賀県大津土木事務所	伊香立浜大津線
H23・9	福岡県	RT-4CT2-100	159.5 m	田川県土整備事務所	伊方橋
H24・1	福岡県	落下物防止柵　PC フェンス	10 m	田川県土整備事務所	大谷橋落下物防止柵





実績

年 月	県 名	商 品 名	橋 長	役 所 名	橋 梁 名
H24・3	静岡県	アルミ高欄（シルバーアルマイト）	76.73 m	浜松市役所	曳馬駅
H24・3	鹿児島県	アルミ高欄（ハンドレール付）	22.52 m	民間	高江病院
H24・4	埼玉県	アルミ高欄（部材）	1 式	関東農政局	六堰アルミ高欄補修
H24・5	栃木県	アルミ手摺り	111.0 m	国土交通省　江戸川河川事務所	H23入谷落樋管改築工事
H24・5	福岡県	アルミ高欄	31.6 m	北九州市役所	曽根漁港
H24・8	千葉県	アルミ高欄	5.68 m	北九州市産業経済局	北小金駅北口
H24・10	静岡県	アルミ製高欄・手摺り	73.4 m	浜松市役所	上島駅
H24・11	静岡県	アルミ高欄	77.04 m	浜松市役所	助信駅
H24・11	福岡県	目隠し板	1 式	北九州市小倉南区役所	葛原東歩道橋
H24・11	大阪府	アルミ防護柵　RTD-12-11BP	13.1 m	関東地方整備局　江戸川河川事務所	今上落排水樋管
H24・11	愛知県	アルミ高欄・防護柵・手摺り	291.1 m	東山総合公園再生整備課	東山動植物園花園橋改築工事
H24・12	茨城県	壁高欄手摺（アルミ製）	8.9 m	関東地方整備局	圏央道東高架橋上部その7工事
H24・12	熊本県	鋼製落下物防止柵（メッシュパネル）	77.4 m	熊本市役所	小池竜田線橋梁上部工工事（小峯工区）
H24・12	沖縄県	アルミ製車輌用防護柵	41.9 m	沖縄県北部土木事務所	国頭東線高平橋橋梁整備工事
H25・1	栃木県	アルミ高欄　RTD-20-9	≒ 15 m	国土交通省　関東地方整備局	菱町樋管
H25・2	熊本県	鋼製落下物防止柵	6.881m	熊本土木事務所	一般県道小池竜田線橋梁上部工工事
H25・2	茨城県	アルミ高欄　RTD-12-11BP	14.9 m	茨城県　辰ノ口土地改良区	竹ノ越排水
H25・2	千葉県	アルミ高欄　SAB-CN-2185	36.9 m	千葉県真間川改修事務所	国分川2号橋上部工
H25・7	神奈川県	ガラス高欄	546.4 m	東日本鉄道（株）横浜支社	戸塚駅
H25. 10	山口県	アルミ高欄＋アルミ防護柵P種	23.4 m	JR 西日本	丸子跨線橋
H25. 10	長崎県	アルミRTD用高欄	6 基	長崎河川国道事務所	島瀬歩道橋
H25・12	長崎県	嵩上げ鋼製高欄	54.33 m	長崎市役所	市道鶴見台16号線
H25・12	福岡県	鋼製高欄	131.0 m	福岡県田川県土整備事務所	皆添橋
H26・1	栃木県	アルミRTD-12-11 BP（シルバー）	10.3 m	関東地方整備局高崎河川事務所	寺尾用水樋管
H26・1	宮崎県	アルミ高欄 A 種防護柵	1 式	国土交通省延岡河川国道事務所	東九州道（県境～北川）
H26・1	静岡県	投下防止付高欄	161 m	吉田町役場（都市建設課）	津波非難タワー（F工区）
H26. 2	静岡県	投下防止付高欄	166 m	吉田町役場（都市建設課）	津波非難タワー（J工区）
H26. 2	福岡県	アルミ製防護柵	20.89 m	大川市役所	木の香橋・ふれあい橋
H26. 2	静岡県	アルミ製高欄（シルバー色）	81.6 m	浜松市役所	助信駅
H26. 2	茨城県	アルミ高欄　防護柵	約 65 m	国土交通省関東地方整備局	田川水門
H26. 2	静岡県	投下防止付高欄	195.9 m	吉田町役場（都市建設課）	津波非難タワー（E工区）
H26・3	福岡県	鋳鉄製高欄	27.1 m	久留米県土	神幸橋
H26・3	栃木県	アルミ手摺　RTD-12-11BP	27.3 m	関東地方整備局高崎河川事務所	寺尾排水樋管
H26・3	沖縄県	転落防止柵（RTEW-20-10BP）	127 m	北谷町役場	北谷フィシャリーナ

年 月	県 名	商 品 名	橋 長	役 所 名	橋 梁 名
H26・3	沖縄県	アルミ高上げ柵	698 m	沖縄県宮古土木事務所	伊良部大橋（その4）
H26・3	沖縄県	アルミ高上げ柵	629 m	沖縄県宮古土木事務所	伊良部大橋（その5）
H26・3	埼玉県	アルミ手摺　転落防止柵	1905.8m	独立行政法人都市再生機構	越谷レイクタウン
H26・3	栃木県	アルミ手摺　PG-12-11BP	12.2 m	鬼怒川南部土地改良区連合	川岸機場
H26・4	鹿児島県	水道管防護柵	41 m	九州地方整備局　鹿児島国道事務所	鹿児島3号市道中郡屋地線跨道橋外工事
H26・6	福岡県		125 m	田川県土整備事務所	ほしい橋
H26・7	佐賀県	アルミ高欄	710 m	鳥栖土木事務所	豆津大橋
H26・8	沖縄県	アルミ防護柵	151 m	宮古土木事務所	伊良部大橋取付道路
H26・9	群馬県	アルミ手摺　RTD-12-11BP	10.3 m	関東地方整備局高崎河川事務所	寺尾排水樋管
H26・9	沖縄県	アルミ高上げ高欄	3000 m	宮古土木事務所	伊良部大橋取付道路
H26・10	沖縄県	アルミ高上げ高欄	720 m	宮古土木事務所	伊良部大橋取付道路
H26・11	福岡県	鋼製高欄	46 m	八女県土整備事務所	じゃぶち橋
H26・11	沖縄県	アルミ高上げ高欄	2240 m	宮古土木事務所	伊良部大橋取付道路
H26・12	群馬県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	7.2 m	関東地方整備局高崎河川事務所	烏川樋管
H27・2	千葉県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	27.2 m	関東地方整備局利根川下流河川事務所	宝山排水樋管
H27・3	千葉県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	31 m	関東地方整備局利根川下流河川事務所	第一排水樋管
H27・4	千葉県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	19 m	関東地方整備局利根川下流河川事務所	東宝山排水樋管
H27・7	埼玉県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	14 m	さいたま市役所	西徳力
H27・11	茨城県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	33 m	関東地方整備局下館河川事務所	伊丹排水樋管
H28・2	栃木県	アルミ手摺	61 m	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所	三栗谷排水樋管
H28・2	宮城県	アルミ手摺	54 m	仙台市役所	井戸浦樋管
H28・3	愛知県	投下防止柵	70 m	東海市役所	東海橋
H28・3	福岡県	鋼製高欄	49 m	京築県土整備事務所	駐津橋
H28・3	鹿児島県	アルミ高欄	45 m	九州地方整備局川内河川事務所	鶴田ダム
H28・3	福岡県	鋼製高欄	136 m	福岡県飯塚県土事務所	東町橋
H28・3	沖縄県	鋼製高欄	部材m	那覇空港港湾事務所	那覇空港
H28・4	山梨県	鋼製高欄	27.5 m	飯田市役所	新川橋
H28・4	福岡県	鋼製高欄	72 m	福岡県飯塚県土事務所	大蔵橋
H28・6	熊本県	鋼製高欄	16.5 m	鹿本地域振興局	第一永橋
H28・9	沖縄県	アルミ高欄	34 m	北部土木事務所	名護漁港
H28・9	群馬県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	7.7 m	関東地方整備局高崎河川事務所	根小屋樋管ゲート
H28・10	栃木県	アルミ手摺　RTC-12-11BP	51 m	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所	才川樋管ゲート
H29. 1	愛知県	アルミ高欄	62.8 m	愛知県	緊急工事
H29. 9	茨城県	アルミ高欄	32 m	関東地方整備局下館河川事務所	新堤排水樋管



芳雄橋

明治以降石炭の一大産地として急成長した九州筑豊地域の中核都市である飯塚市の芳雄橋は、市中心部の遠賀川と穂波川の合流地点に架る官庁街の新飯塚と中心商業地の吉原町を結ぶ歩道橋（下流側）と車道橋（上流側）の2本からなる桁橋でした。歩道橋は我が国3番目の鉄筋コンクリートの橋梁であり、歴史的意義とともに市民に親しまれた芳雄橋も2003年7月の飯塚大水害を受け、遠賀川河川改修の一環として架け替えが決まりました。新橋の設計は市民の意向を反映し旧橋の高欄などの意匠を取り入れた石造アーチ風の6径間のPC桁橋が採用されました。

当社は橋脚、上部工、橋面工事に関わる全ての石材工事を足掛け2年間に亘って担当し、国土交通省遠賀川工事事務所をはじめ請負各社の御意向や御指導を受けながら、アーチやドームで培った石造技術を生かした積極的な技術提案を行いました。コンクリートPC等の先端的工法と石造技術が融合したまさにハイブリッドな構造を持つ芳雄橋の誕生に貢献致しました。







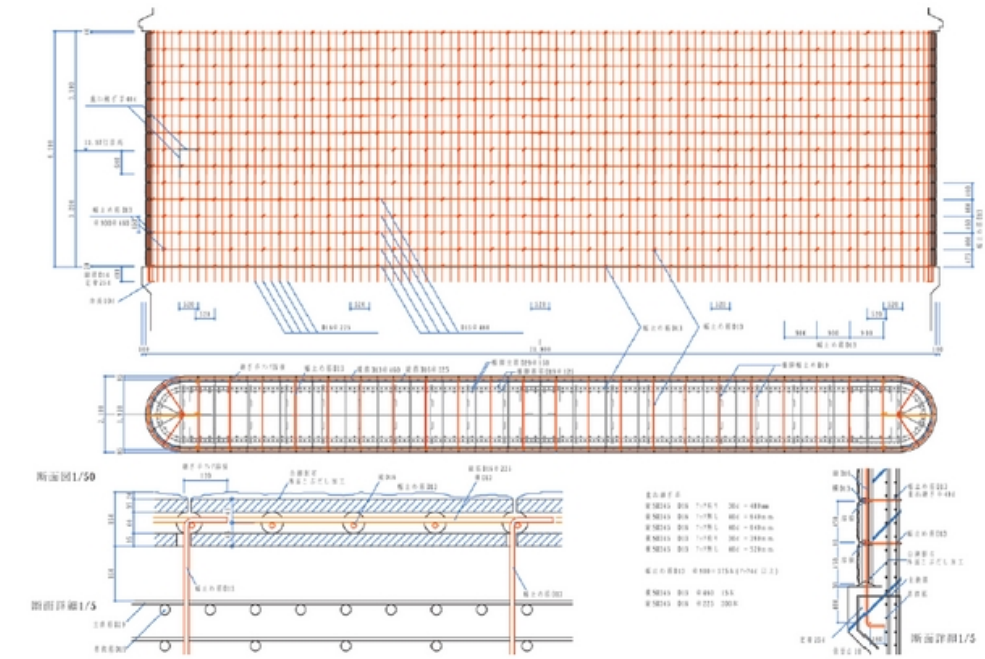


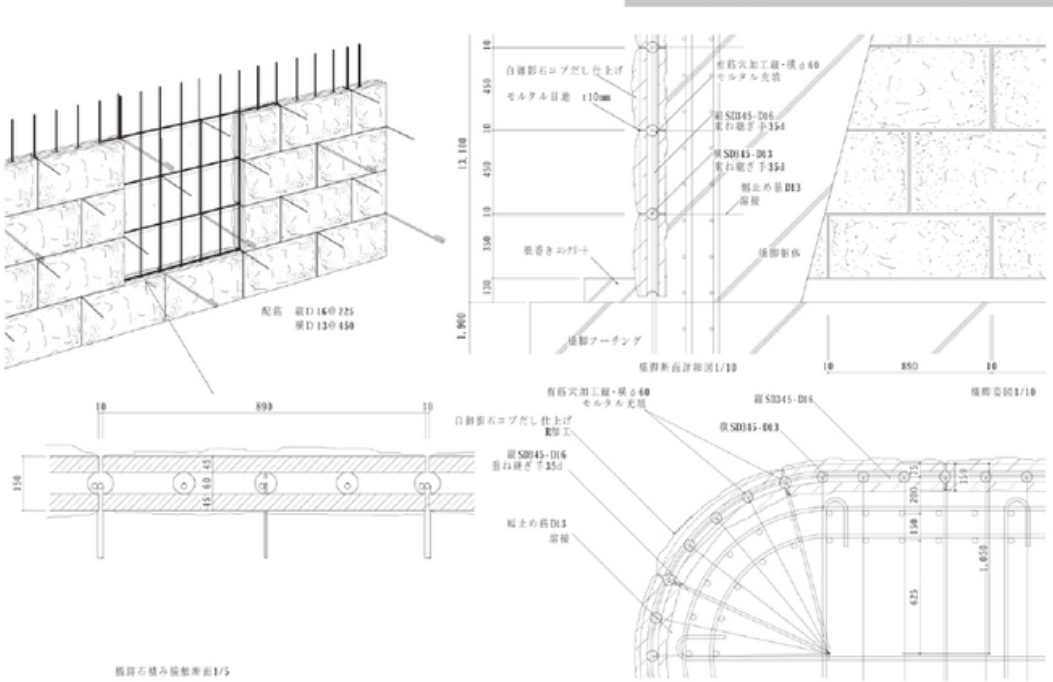
石造残存型枠工法

鉄筋コンクリート構造の化粧としての石材ではなく、石積み構造の中詰めとして鉄筋コンクリートを用いる新工法。

型枠等の仮設資材を省いた省資源、短期工事が可能なエコロジーな工法で、石材とコンクリートが一体化するため必要十分な構造強度と流木等に対する堅牢な仕上げ面を半永久的に維持します。数世紀に亘って供用され今も車両交通に耐え続けるヨーロッパや我が国の石橋技術を現代の施工に再生した画期的な工法です。

われわれは石造技術の粋を発揮し全５橋脚を同時短工期で施工し、その精度と仕上がりにおいて賞賛をいただきました。

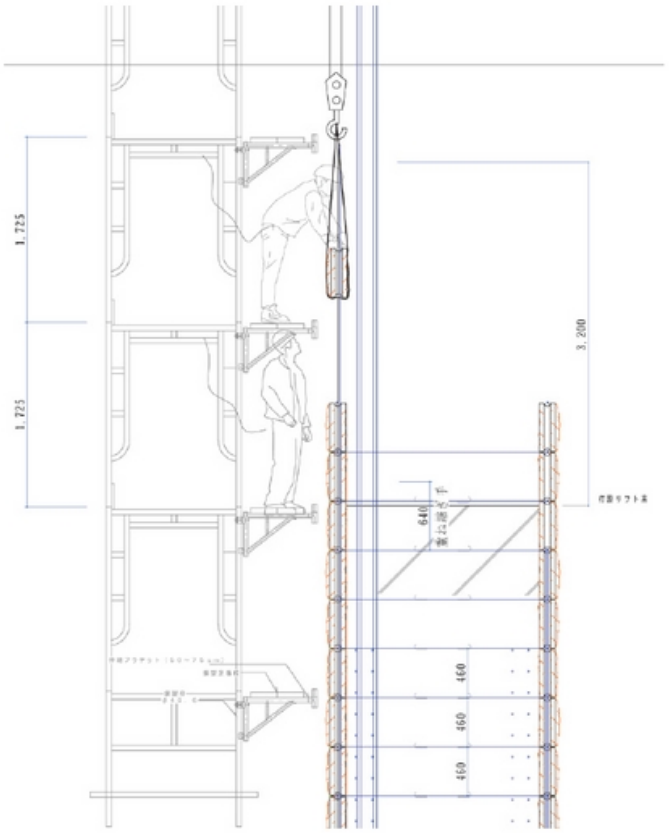




石造アーチ工法

芳雄橋の特徴である中央部バルコニーから中之島に降りる昇降部では石造アーチ工法が採用されました。石造構造としては長い歴史をもつアーチも近年はコンクリート等に変わり、その技術は風化しつつあります。

われわれは精密な加工を施した石材を、鉄骨支保を使用して熟練した技術で均質な競り持ちに施工し短期間で無垢石のアーチを完工致しました。アーチの組石は競り合いによって圧縮力を十二分に発揮し、外殻に施工される鉄筋がタガとして万が一の浮き上がりに働き、強固で美しい工法です。







YSB工法

土木や建築において主要構造材としては認められていない石材を本来求める形として具体化すること、鋼材やコンクリート以前の石造構造物の美しさを具体化すること、バスターは塊としての石材を用いて用途や構造上の要求に満たす現代における石造りの本来の姿を追求しています。

予算や刹那的な合理性から一般的である【貼り石】を良しとせず、本来石造りがもつ永久性や重厚さ、奥行き深い表情を今に生かすため、設計、製造、工事にわたる全てにおいて一貫して取り組んでいます。





防護柵設置基準

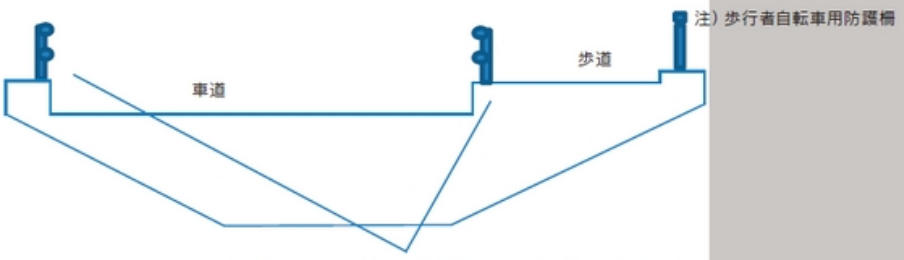
橋梁用防護柵設置基準

道路の区分	一般区分		重大な被害が発生する恐れのある区間		新幹線などと交差または近接する区間	
	設計速度	種別	設計速度	種別	設計速度	種別
自動車専用道路	80km/h 以上	A	80km/h 以上	SB	80km/h 以上	SS
高速自動車道	60km/h 以下	A	60km/h 以下	SC	60km/h 以下	SA
その他の道路	60km/h 以上	B	60km/h 以上	A	60km/h 以上	SB
	50km/h 以下	C	50km/h 以下	B	50km/h 以下	SB

注）速度 40km/ h 以下の道路では C を使用することができる。

種別	ブロックアウト量（mm）	柱間隔（mm）	上端高さ（mm）	衝突速度（km/h）	強度（衝撃度）（KJ）
C	40	2000	1000 以下	26	45 以上
B	45	2000	1000 以下	30	60 以上
A	55	2000	1000 以下	45	130 以上
SC	65	2000	1000 以下	50	160 以上
SB	75	1500	1000 以下	65	280 以上
SA	75	1500	1000 以下	80	420 以上

橋梁用防護柵設置の考え方



車両用防護柵及び横断を防止を目的とした歩行者自転車用柵

注）ただし、車両の橋梁外への逸脱を防止する必要がある区間で、歩車道境界に車両用防護柵を設置することが困難である場合には、転落防止機能を有する歩行者用自転車用柵を兼用した車両用防護柵を設置するものとする。また、歩車道境界に車両用防護柵の無い橋梁、高架区間の路側に種別SP種のアルミニウム合金製歩行者自転車用柵を設置する場合は、ハイテンション型のアルミニウム合金製歩行者自転車用柵を設置するものとする。

歩行者自転車用柵

種別	設計強度	高さ
P	垂直荷重　590N/m（60kgf/m） 水平荷重　390N/m（40kgf/m）	1100mm 700 ～ 800 （横断防止）
SP	垂直荷重　980N/m（100kgf/m） 水平荷重　2500N/m（250kgf/m）	

高欄

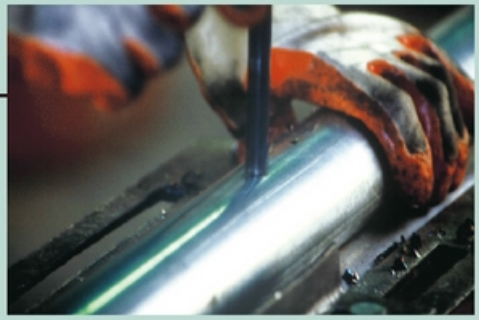


当社ではアルミ押出型材、スチール材、鋳鉄、ステンレス等さまざまな素材の車両用防護柵、高欄を用意しております。
高欄のオーダー品としても提案から製作まで幅広く対応致します。また、高欄の設置に伴い発生します親柱、照明、内照式LEDも用意しております。お気軽にご相談ください。

鉄製品の高欄は溶融亜鉛めっき仕上げを施し、錆など押える耐蝕性に優れております。また、表面の仕上げをカラーコーディネイトの静電粉体塗装を施しさらに耐蝕性能を上げると共に環境にマッチした製品を提供します。

アルミ製品の高欄はアルミ素材に陽極酸化塗装複合被膜処理を施し重工業地帯や海岸沿いの塩害にも耐えうる性能を発揮します。また、素材は軽く、取り扱いも良く施工短縮も望めます。

溶融亜鉛めっき



溶融亜鉛めっきは、単に鉄の表面に保護被膜をつくるだけではなく、亜鉛めっき自体の表面に強力な被膜を形成。表面にキズが生じた場合は亜鉛が溶融して鉄の腐食を制御する独特の犠牲的防食作用を発揮。鉄素材の耐蝕年数を延長させる表面処理法として広範囲に利用されています。

静電粉体塗装



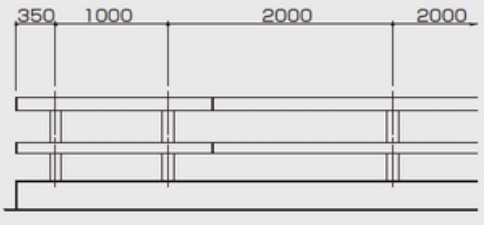
ポリエステル樹脂系の粉体塗料を静電粉体塗装します。1回で厚塗りが可能で耐候性、防錆性に優れています。膜厚は均一で密着性が高く、表面の光択もよく数多くの特徴を備えています。

橋梁用防護柵

アルミ製

RTA-2B(C)-75



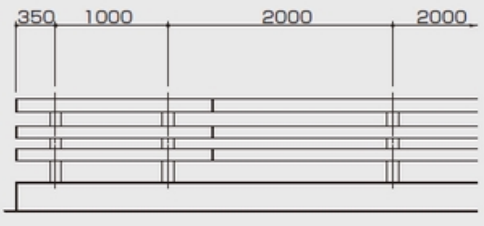


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	主要横梁	下段横梁	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径		
750	2000	□110×100	165×120	□100×55	16kg/m	B、C種

RTA-3B(C)-75



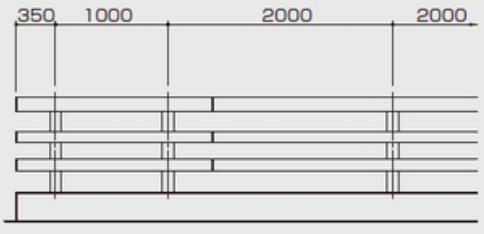


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	主要横梁	下段横梁	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径		
750	2000	□110×100	165×120	□100×55	17kg/m	B、C種

RTA-3B(C)-85





【規格表】

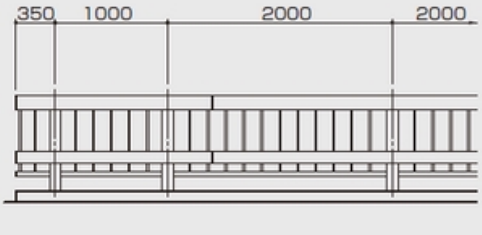
本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	主要横梁	下段横梁	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径	外径		
850	2000	□110×100	100×60	165×120	□100×55	17kg/m	B、C種

橋梁用防護柵

アルミ製

RTA-2B(C)T-85



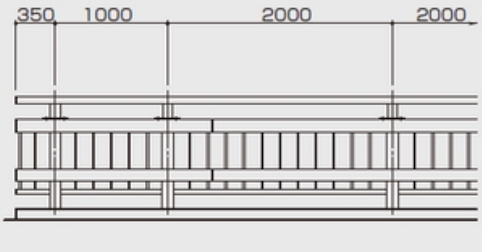


規格表

本体高さ	支柱間隔	支柱	主要横梁	下段横梁	ボトムレール	バラスター	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径	外径	外径		
850	2000	□110×100	165×120	□100×55	□75×45	45×15	18kg/m	B、C種

RTA-3B(C)T-100



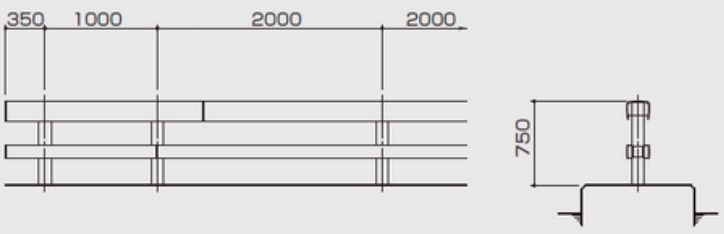


規格表

本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	主要横梁	下段横梁	ボトムレール	バラスター	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径	外径	外径	外径		
1000	2000	□110×100	100×60	165×120	□100×55	□75×45	45×15	23kg/m	B、C種

RTAW-2B(C)-75





規格表

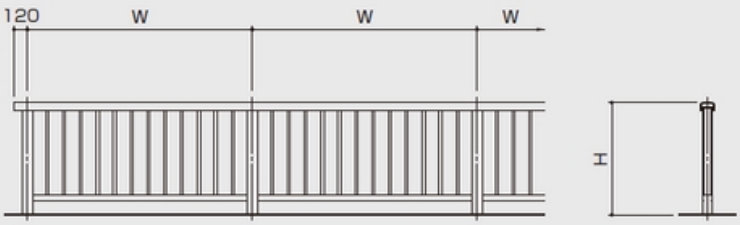
本体高さ	支柱間隔	支柱	主要横梁	下段横梁	重量（m当たり）	強度区分
		外径	外径	外径		
750	2000	□110×100	200×160	□120×50	27kg/m	B、C種

高欄

アルミ製

RTC-25-10(11)



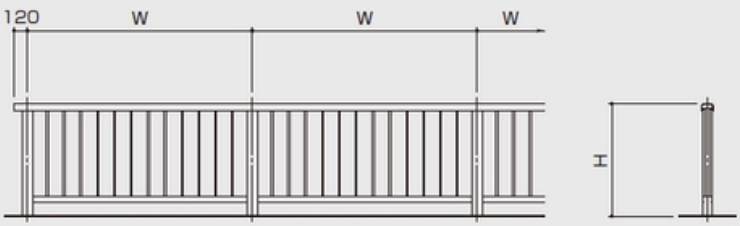


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	ボトムレール	バラスター	重量(m当たり)	強度区分
		外径	外径	外径	外径		
1000(1100)	2500	□100×100	120×70	80×50	□60×25	9kg/m	SP種

RTD-25-10(11)



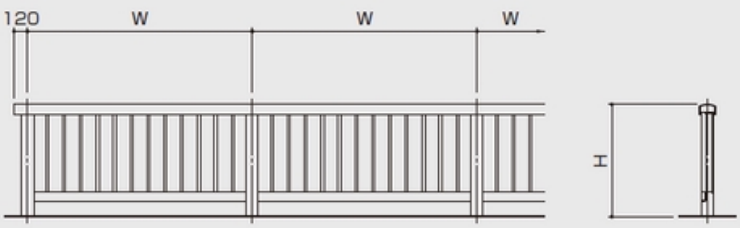


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	ボトムレール	バラスター	重量(m当たり)	強度区分
		外径	外径	外径	外径		
1000(1100)	2500	□90×90	100×60	80×50	□45×15	9kg/m	SP種

RTH-25-10(11)





【規格表】

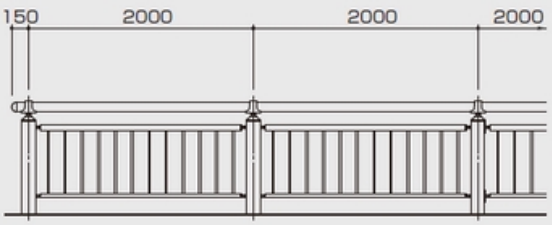
本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	ボトムレール	バラスター	重量(m当たり)	強度区分
		外径	外径	外径	外径		
1000(1100)	2500	□110×110	140×90	100×80	55×25	13kg/m	SP種

高欄

アルミ製

RTEW-20-10(11)

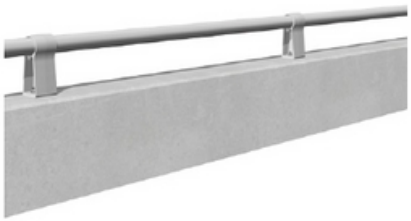


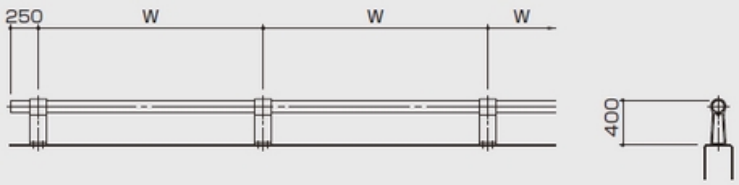


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	中桟	バラスター	下桟	重量	強度区分
		外径	外径	外径	外径	外径	(m当たり)	
1000(1100)	2500	□120×120	φ86-60.5	75×50	□30×18	50×30	17.2kg/m	SP種

RTPA-1-40

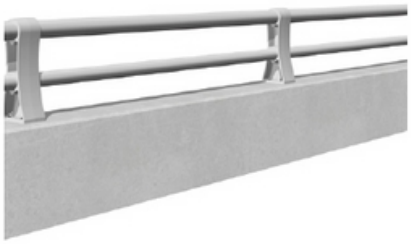


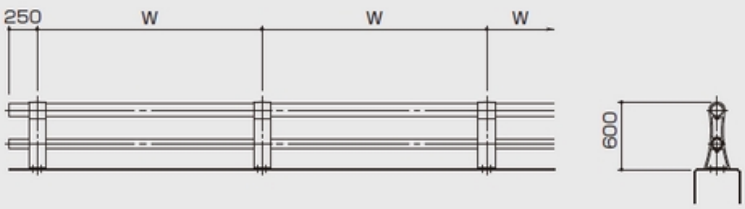


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	笠木	強度区分
		外径	
400	2500	φ110	SP種

RTPA2-60



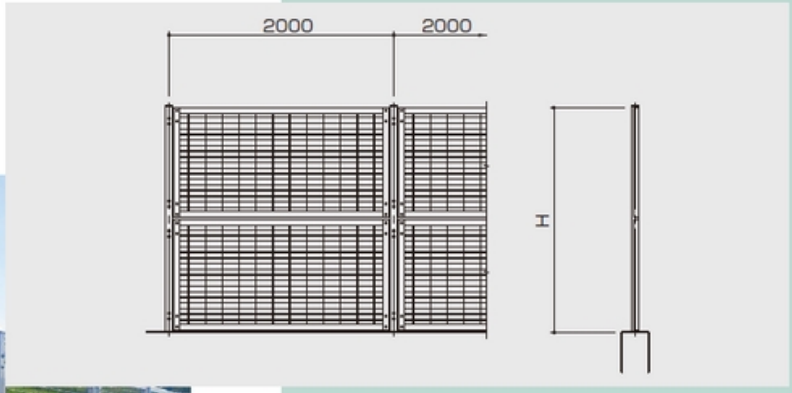


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	笠木	中桟	強度区分
		外径	外径	
400	2500	φ110	φ90	SP種

投下防止柵

TOSYK-20-20

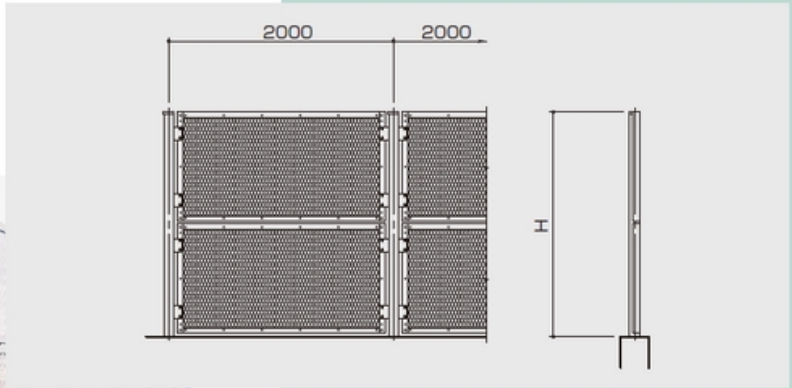




【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	投下防止網	重量
		外径	スポットフェンス	(m当たり)
2000	2000	□100×100	3.2 t	23kg/m

TOAEX-20-20



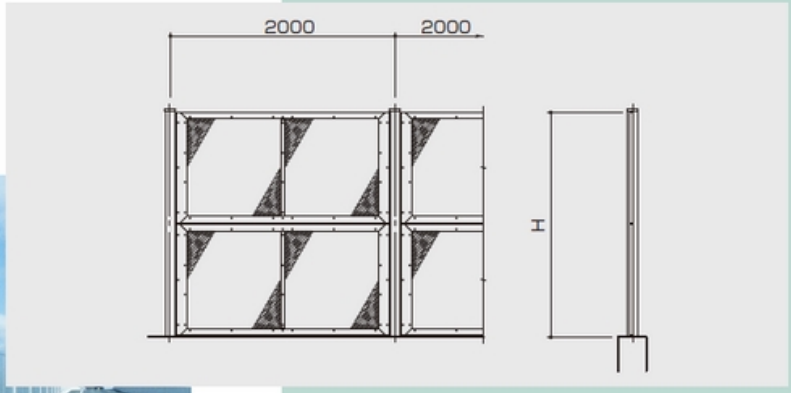


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	投下防止網	重量
		外径	ラス網	(m当たり)
2000	2000	□100×100	3.0 t	16kg/m

投下防止柵

TOAPO-20-20

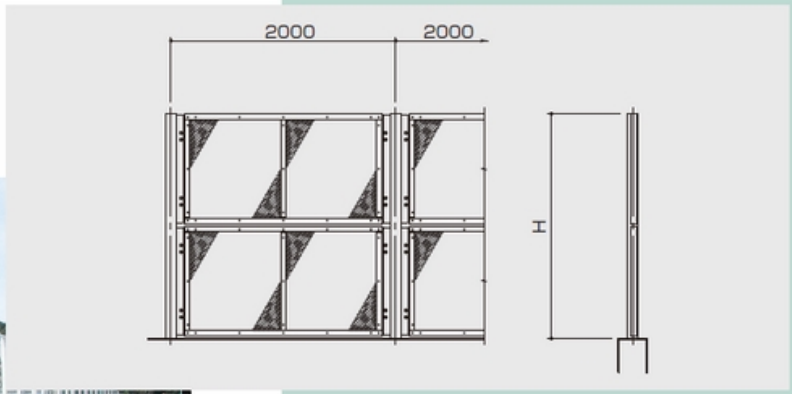




規格表

本体高さ	支柱間隔	支柱	目隠し板	重量
		外径	ポリカーボネイド	(m当たり)
2000	2000	□100×100	5.0 t	33kg/m

TOPO-20-20





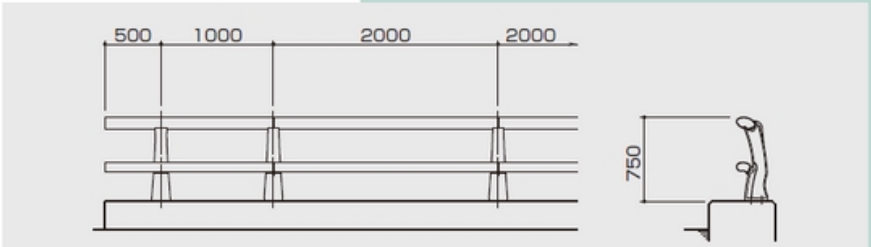
規格表

本体高さ	支柱間隔	支柱	目隠し板	重量
		外径	ポリカーボネイド	(m当たり)
2000	2000	□100×100	5.0 t	69kg/m

橋梁用防護柵

アルミ製

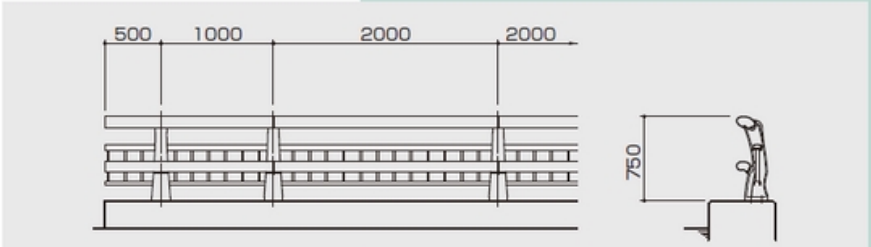
RTOK-A-2B(C)-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量	強度区分
		形状	外径	外径	(m当り)	
750	2000	735×200×165	170×100	122×90	15.5kg/m	B・C種

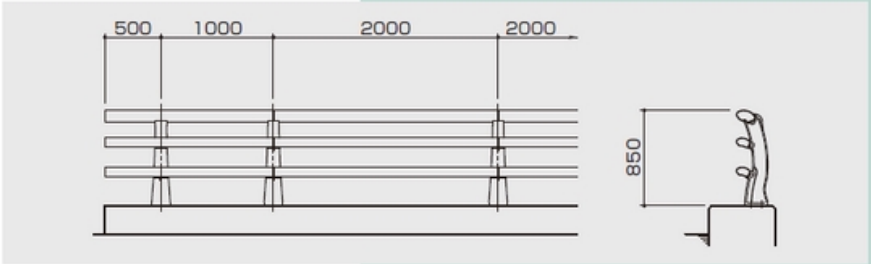
RTOK-A-2B(C)-75K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	笠木	ボトムレール	格子	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	外径	(m当り)	
750	2000	735×200×165	170×100	122×90	75×50	50×30	30×18	18.1kg/m	B・C種

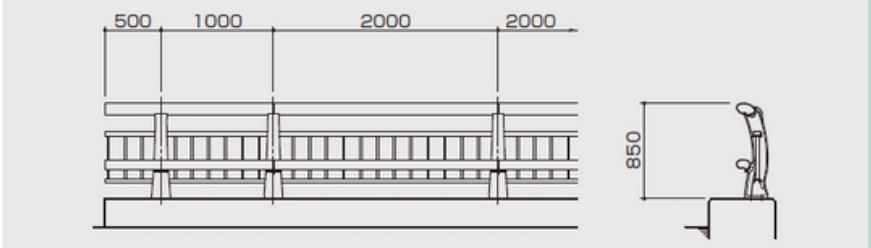
RTOK-A-3B(C)-85



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量	強度区分
		形状	外径	外径	(m当り)	
850	2000	835×200×165	170×100	122×78	17.2kg/m	B・C種

RTOK-A-2B(C)-85K



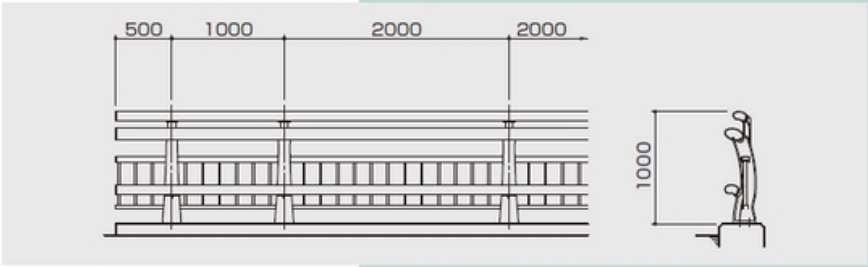
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	笠木	ボトムレール	格子	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	外径	(m当り)	
850	2000	835×200×165	170×100	122×90	75×50	50×30	30×18	19.6kg/m	B・C種

橋梁用防護柵

アルミ製

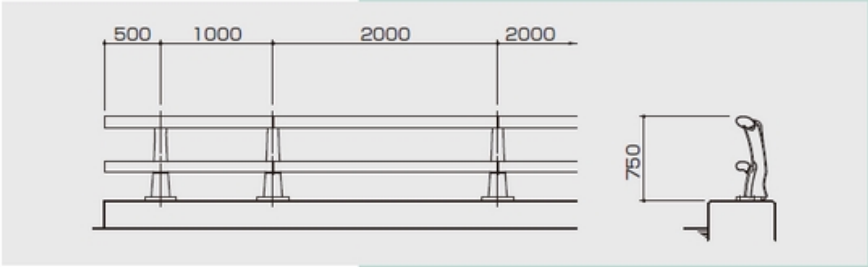
RTOK-A-3B(C)-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	笠木	ボトムレール	格子	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	外径	外径	(m当り)	
1000	2000	985×200×165	170×100	122×90	122×78	75×50	50×30	30×18	22.0kg/m	B・C種

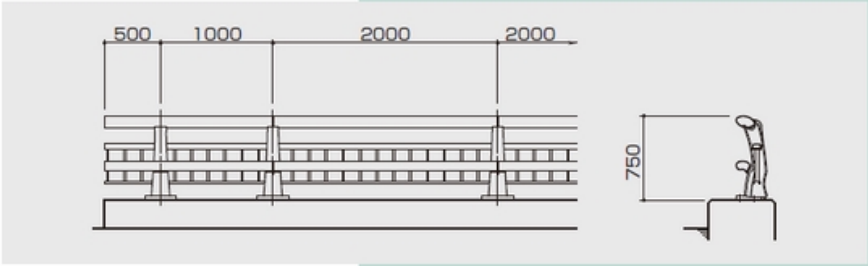
RTOK-A-2B(C)-75FR



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量	強度区分
		形状	外径	外径	(m当り)	
750	2000	735×275×280	170×100	122×90	15.8kg/m	B・C種

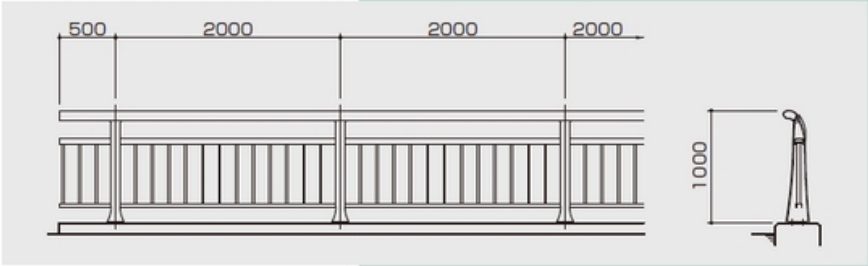
RTOK-A-2B(C)-75KFR



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	笠木	ボトムレール	格子	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	外径	(m当り)	
750	2000	735×275×280	170×100	122×90	75×50	50×30	30×18	18.5kg/m	B・C種

RTOK-A-SP-100K



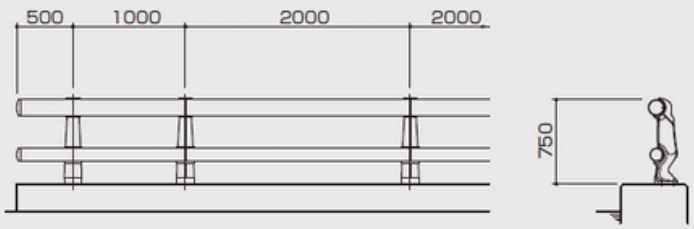
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	トップレール	笠木	ボトムレール	格子	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	(m当り)	
1000	2000	985×200×150	122×78	75×50	50×30	30×18	16.7kg/m	SP種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

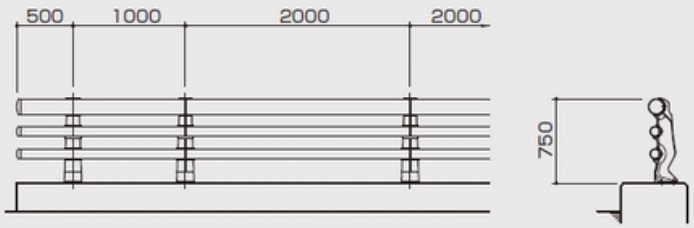
RTOK-2A-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	760×200×155	φ139.8	φ114.3	51.0kg/m	A種

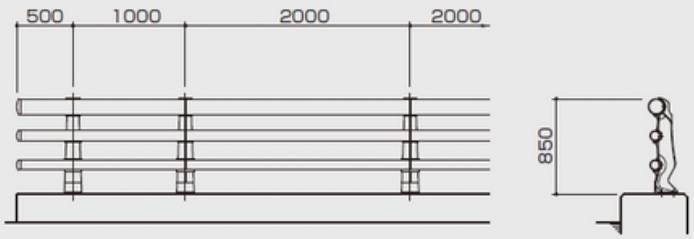
RTOK-3A-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	760×200×155	φ139.8	φ89.1	52.6kg/m	A種

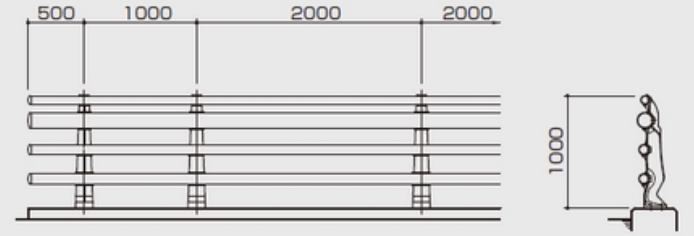
RTOK-3A-85



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
850	2000	860×200×155	φ139.8	φ89.1	54.6kg/m	A種

RTOK-4AP-100



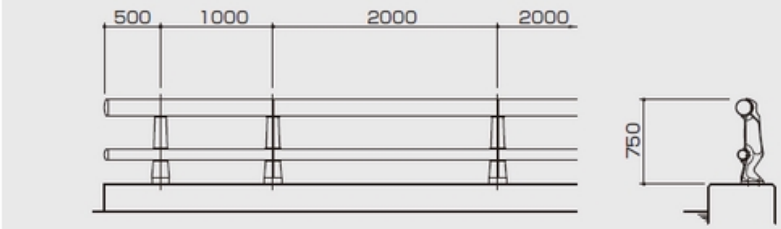
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	トップレール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径	外径		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ89.1	φ76.3	60.8kg/m	A種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

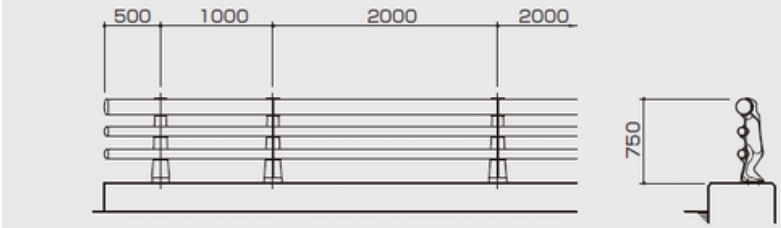
RTOK-2B-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ89.1	33.7kg/m	B種

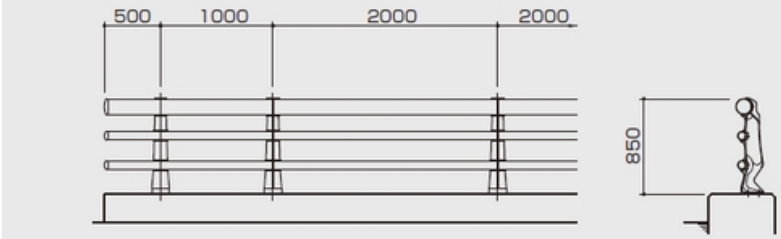
RTOK-3B-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ76.3	38.0kg/m	B種

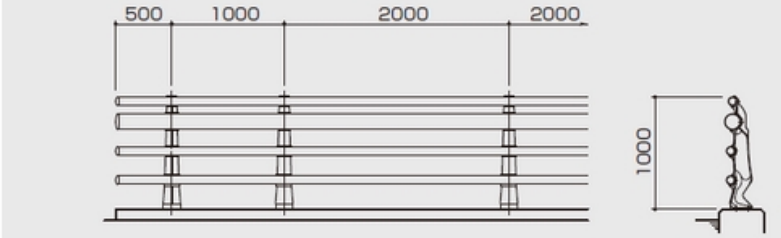
RTOK-3B-85



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
850	2000	858×200×155	φ139.8	φ76.3	38.8kg/m	B種

RTOK-4BP-100



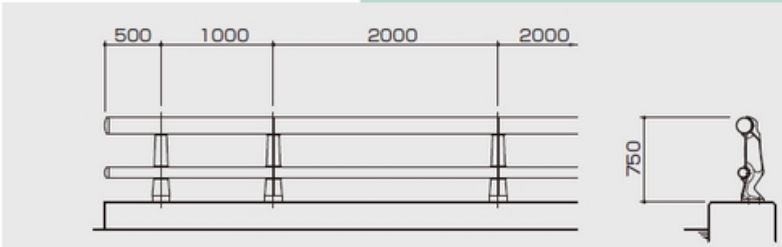
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	トップレール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径	外径		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ76.3	φ76.3	45.4kg/m	B種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

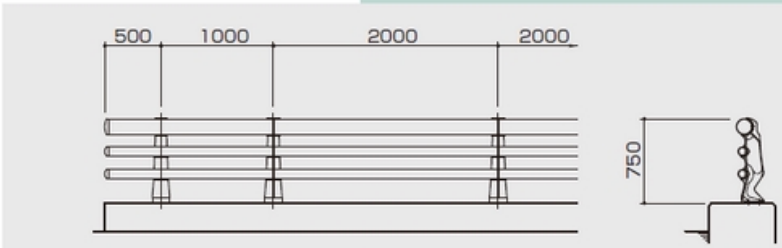
RTOK-2C-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ89.1	32.8kg/m	C種

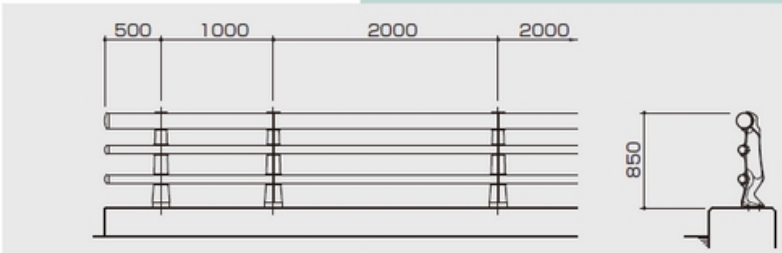
RTOK-3C-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ76.3	38.0kg/m	C種

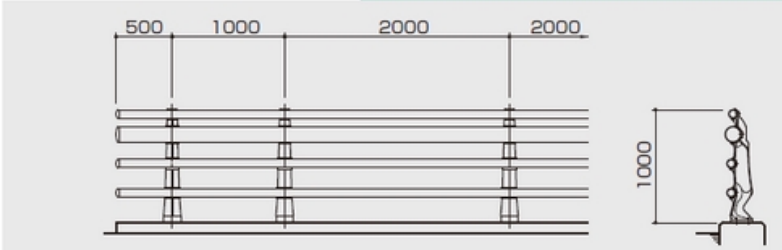
RTOK-3C-85



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
850	2000	858×200×155	φ139.8	φ76.3	38.9kg/m	C種

RTOK-4CP-100



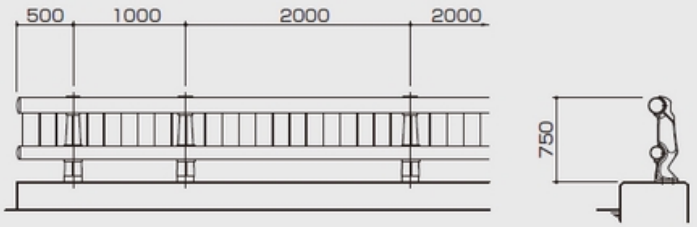
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	トップレール	重量 (m当り)	強度区分
		形状	外径	外径	外径		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ76.3	φ76.3	45.5kg/m	C種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

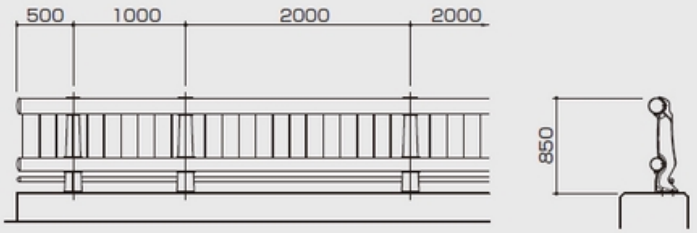
RTOK-2A-75K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	形状		
750	2000	760×200×155	φ139.8	φ114.3	FB6×32	53.7kg/m	A種

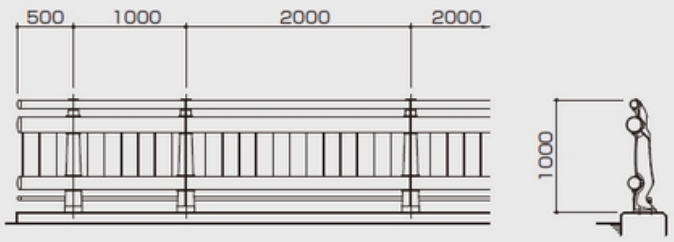
RTOK-2A-85K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	形状		
850	2000	860×200×155	φ139.8	φ114.3	φ34	FB6×32	57.3kg/m	A種

RTOK-3AP-100K



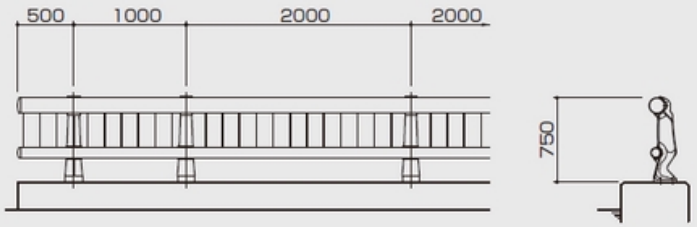
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	形状		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ114.3	φ76.3	φ34	FB6×32	63.3kg/m	A種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

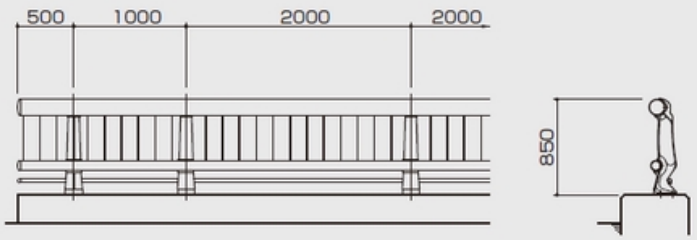
RTOK-2B-75K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	形状		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ89.1	FB6×32	36.5kg/m	B種

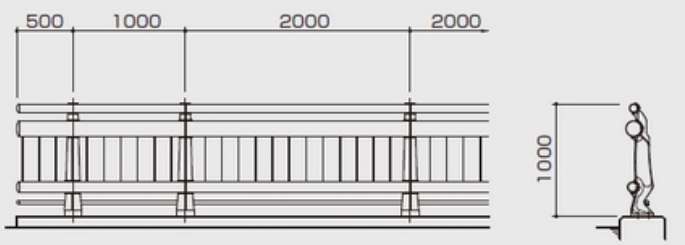
RTOK-2B-85K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	形状		
850	2000	858×200×155	φ139.8	φ89.1	φ34	FB6×32	39.7kg/m	B種

RTOK-3BP-100K



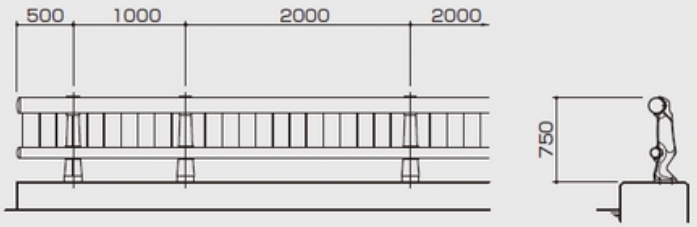
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	形状		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ89.1	φ76.3	φ34	FB6×32	46.2kg/m	B種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

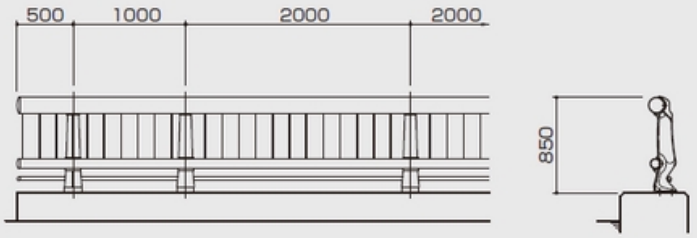
RTOK-2C-75K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	形状		
750	2000	758×200×155	φ139.8	φ89.1	FB6×32	36.5kg/m	C種

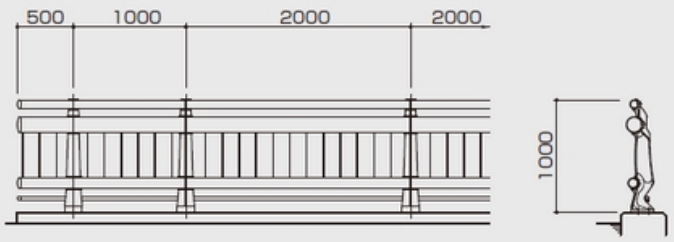
RTOK-2C-85K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	形状		
850	2000	858×200×155	φ139.8	φ89.1	φ34	FB6×32	38.9kg/m	C種

RTOK-3CP-100K



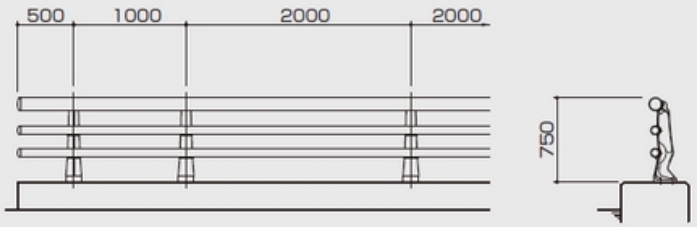
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	形状		
1000	2000	1009×200×155	φ139.8	φ89.1	φ76.3	φ34	FB6×32	45.4kg/m	C種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

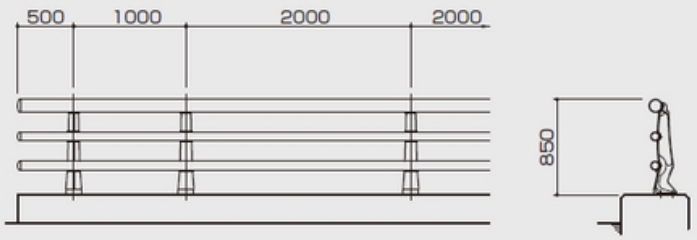
RTOK-3BL-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量(m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	721×200×140	φ114.3	φ76.3	36.3kg/m	B種

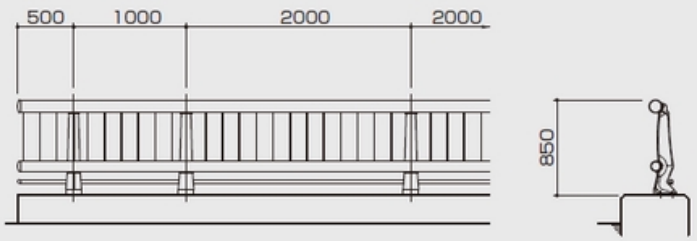
RTOK-3BL-85



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量(m当り)	強度区分
		形状	外径	外径		
850	2000	821×200×140	φ114.3	φ76.3	36.8kg/m	B種

RTOK-2BL-85K



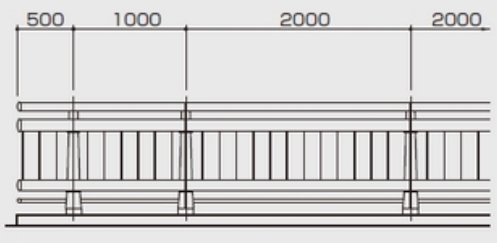
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	補助レール	立貫	重量(m当り)	強度区分
		形状	外径	外径	外径	形状		
850	2000	821×200×140	φ114.3	φ89.1	φ34	FB6×32	38.2kg/m	B種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

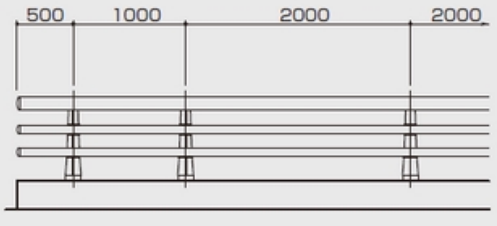
RTOK-3BPL-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	補助レール	立貫	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	形状		
1000	2000	995×200×140	φ114.3	φ89.1	φ76.3	φ34	FB6×32	45.0kg/m	B種

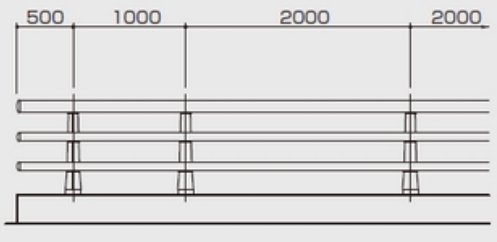
RTOK-3CL-75



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径		
750	2000	721×200×140	φ114.3	φ76.3	36.3kg/m	C種

RTOK-3CL-85



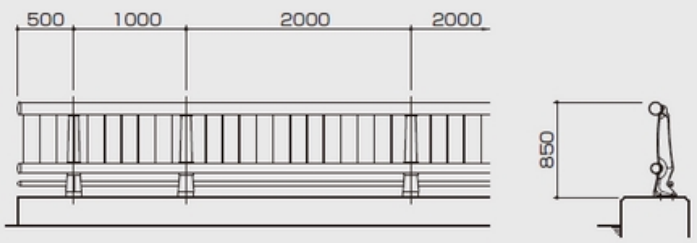
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	中下段レール	重量（m当り）	強度区分
		形状	外径	外径		
850	2000	821×200×140	φ114.3	φ76.3	36.8kg/m	C種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

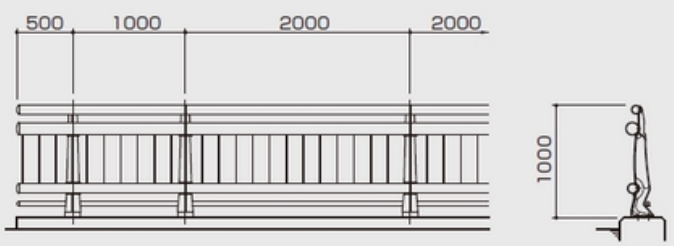
RTOK-2CL-85K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	補助レール	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	形状	(m当り)	
850	2000	821×200×140	φ114.3	φ89.1	φ34	FB6×32	37.4kg/m	C種

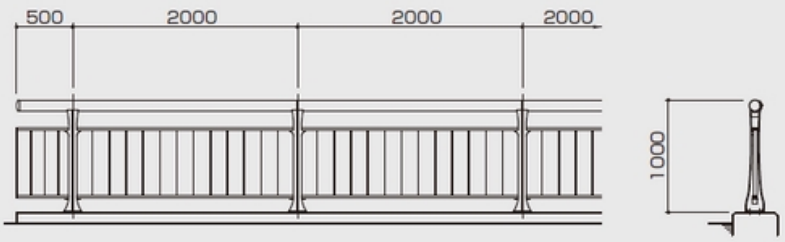
RTOK-3CPL-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	上段レール	下段レール	トップレール	補助レール	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	外径	外径	形状	(m当り)	
1000	2000	995×200×140	φ114.3	φ89.1	φ76.3	φ34	FB6×32	44.1kg/m	C種

RTOK-HP-100K



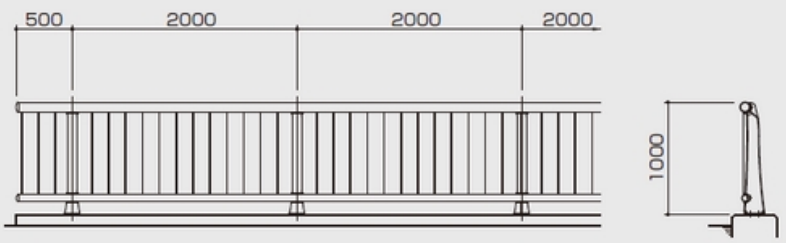
【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	トップレール	中貫	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	形状	(m当り)	
1000	2000	991×160×150	φ101.6	□40×20	FB6×25	26.0kg/m	SP種

橋梁用防護柵

鋳鉄製

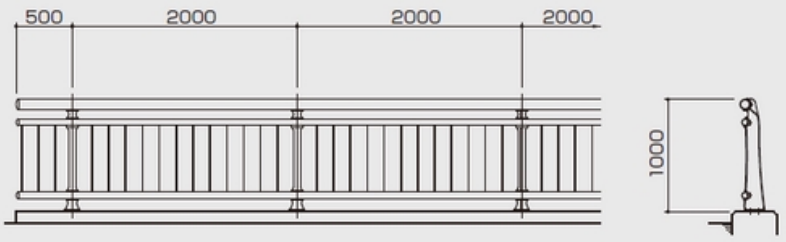
RTOK-2P-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	トップレール	下段レール	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	形状	(m当り)	
1000	2000	1009×185×135	φ89.1	φ60.5	FB6×25	23.1kg/m	SP種

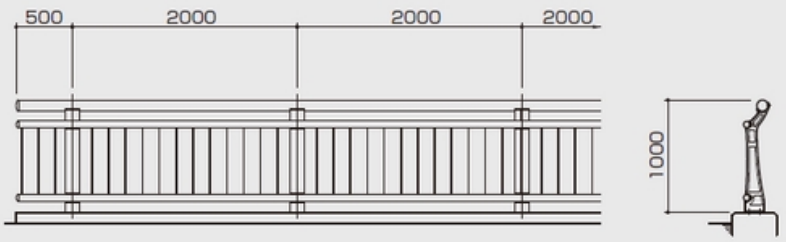
RTOK-3P-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	トップレール	中下段レール	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	形状	(m当り)	
1000	2000	1009×185×135	φ89.1	φ60.5	FB6×25	27.1kg/m	SP種

RTOK-PY-100K



【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	トップレール	中下段レール	立貫	重量	強度区分
		形状	外径	外径	形状	(m当り)	
1000	2000	978×180×125	φ101.6	φ60.5	FB6×25	29.0kg/m	SP種

補助手摺



「バリヤフリー新法」に基づく重点整備地区において、利用者の移動円滑化のために、立体横断施設に設ける通路、傾斜路、階段には、二段式の補助手摺を両側に設けるものとする。

「バリヤフリー新法」に基づく、重点整備地区以外においても、ユニバーサルデザインを目的とした道路空間を形成するために、立体横断施設に設ける通路、傾斜路、階段には、補助手摺を両側に設ける事がのぞましい。

補助手摺は、高齢者や身体障害者等の利用に考慮し、不安感を与えない強度を有し、老人・幼児にもつかみ易く、歩行者の安全を考慮した構造とする。



通路、傾斜路、階段、踊り場には、路面からの高さが800～850mm、600～650mm程度である二段手摺を連続して設けることとする。なお、補助手摺の外径は40mm程度とし、壁面から50mm程度離して設置することが望ましい。

「バリヤフリー新法」に基づく、重点整備地区以外の地区において、一般補助手摺を両側に連続して設置する場合は路面からの高さが750mm～850mm程度とする。

補助手摺は、傾斜路、階段の終端部から水平区間へ600mm程度延長し、利用者の昇降、誘導が円滑になるようにすることが望ましい。

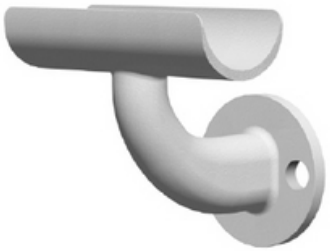


補助手摺の端部は衣服の引っかかり等がないような処理が必要である。

斜路付き階段の傾斜路部分を幅員端部に設けた場合は、補助手摺の利用に支障があるため、幅員中央に補助手摺を設ける事が望ましい。



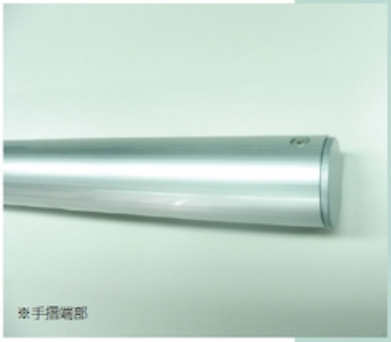
アルミ形材 補助手摺



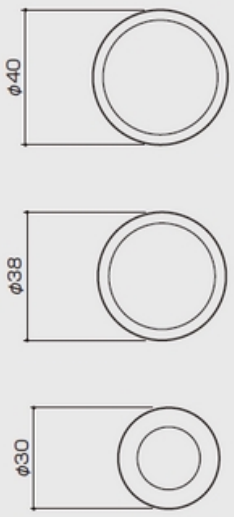




※手摺端部



※手摺端部



※サイズ等オーダー対応致します。

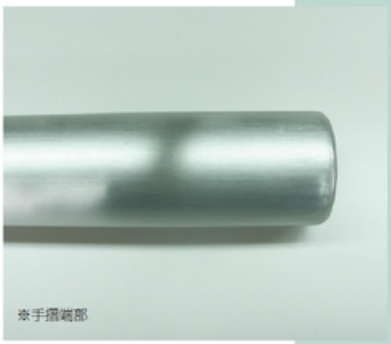
ステンレス 補助手摺



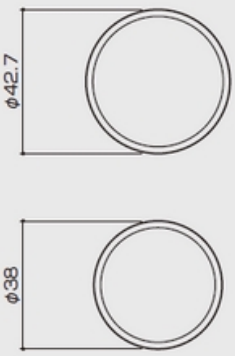




※手摺端部



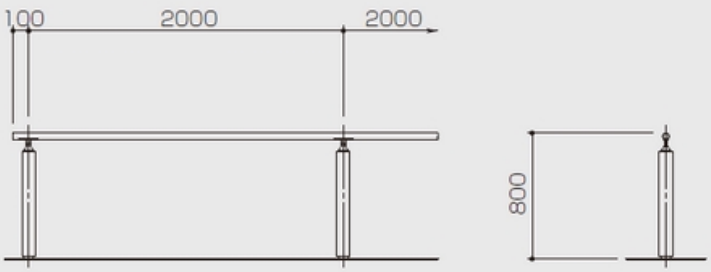
※手摺端部



※サイズ等オーダー対応致します。
※表面仕上げは、ヘアーライン仕上げ
＃400 研磨仕上げ対応致します。

HEW-2-108

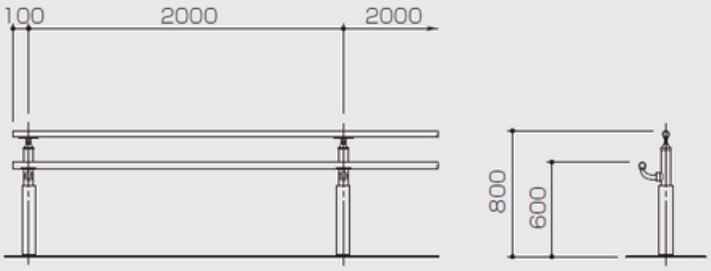




【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（m当たり）
			外径×厚さ	外径×厚さ		
2-108W	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	200	4.2
2-108C	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	400	4.7

HEW-2-208

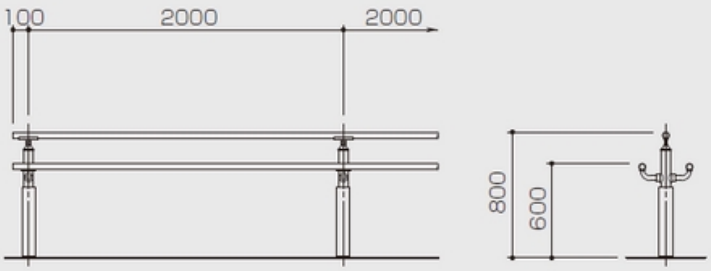


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（m当たり）
			外径×厚さ	外径×厚さ		
2-208W	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	200	8.4
2-208C	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	400	8.9

HEW-2-308





【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（m当たり）
			外径×厚さ	外径×厚さ		
2-308W	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	200	11.3
2-308C	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ42.7×2.3	400	11.8

手すり

日本の建築基準法では階段とその踊り場や、2階以上のバルコニーや屋上などに手すりを設置することが義務付けられています。また、移動等円滑化園路以外の園路においても、高齢者、障害者等が多く利用する園路には手すりを設置することが望ましい。

バスターは材質を問わず、手すりのオーダーに対応致します。







点字

手すりのそれぞれの端部には、階段の上り・下り階段の行き先情報を点字で表示して案内する。点字は「行き先情報」として、主要な公園施設等の目的施設や出入り口の名称を点字と文字（墨字）+矢印の上下2段で併記する。

点字は手すりをつかんだ時に指に触れやすい位置を考慮し、上段の手すりの端部から10㎝程度の上面向きに設置する。素材は耐久性があり、はがれにくいもので危険の無い丸みのある厚材を用いることが望ましい。





実績

年月	県名	商品名	延長	役所名	施設名
H18・12	福岡県	PG-18-11BP	50m	日本下水道事業団	遠賀中流浄化センター　土木
H19・1	静岡県	PG-18-11	23.9m	沼津土木事務所	戸田浄化センター
H19・1	福岡県	PG-18-11BP	140m	日本下水道事業団	田主丸浄化センター
H18・12	山口県	PG-18-11	6.4m	防府市役所	右田ポンプ場
H19・1	福岡県	PG-20-11,9BP	56m	日本下水道事業団	遠賀中流浄化センター
H19・2	山口県	PG-18-11	270m	日本下水道事業団	川西浄化センター
H19・2	福岡県	PG-18-11BP	125m	北九州市役所	穴生浄水場
H19・2	鳥取・島根県	PG-20-9BP	34m	国土交通省	江島大橋事故橋修工事
H19・2	福岡県	PG-18-11,9BP	137m	日本下水道事業団	田主丸浄化センター
H19・3	佐賀県	PG-20-11A	83m	九州農政局	川上頭首工工事
H19・3	沖縄県	PG-20-11,9BP	28m	沖縄県	名護浄水場
H19・7	福岡県	PG-18-11BP	45m	日本下水道事業団	福津浄化センター
H19・9	宮崎県	PG-18-11BP	87m	日本下水道事業団	田野浄化センター
H19・8	福岡県	PG-18-11,9BP	227m	日本下水道事業団	吉井浄化センター
H19・10	広島県	PG-18-11BP	49m	日本下水道事業団	甲世浄化センター
H19・11	山口県	PG-18-11BP	123m	日本下水道事業団	秋穂浄化センター
H19・11	佐賀県	PG-18-11A	65m	日本下水道事業団	久保田浄化センター
H19・11	福岡県	PG-20-11BP	162m	山神水道企業団	筑紫野上水場
H19・11	長崎県	PG-18-11A,BP	250m	日本下水道事業団	諫早中央浄化センター
H19・12	山口県	PG-20-11BP	294m	山口市役所	山口浄化センター
H20・1	福岡県	PG-18-11BP	192m	日本下水道事業団	遠賀下流浄化センター
H20・2	福岡県	PG-20-9A	26.3m	北九州市役所	曽牧浄水場
H20・2	佐賀県	PG-18-11A	19m	江北町役場	江北町グリーンセンター
H20・3	佐賀県	PG-18-11,9BP	25m	日本下水道事業団	鳥栖市浄化センター
H20・3	宮崎県	PG-20-11BP	253m	日本下水道事業団	佐土原浄化センター
H20・4	山口県	PG-18-11	32m	日本下水道事業団	阿知須浄化センター
H20・7	福岡県	PG-18-11,9BP	123m	福岡市役所	綿打川改修工事
H20・8	福岡県	PG-18-11,9BP	631m	前原市役所	前原浄化センター
H20・8	静岡県	PG-18-11	32m	日本下水道事業団	森町浄化センター
H20・9	山口県	PG-18-11BP	14m	日本下水道事業団	川西浄化センター
H20・10	佐賀県	PG-20-11,9BP	92m	日本下水道事業団	東彼杵浄化センター
H20・10	佐賀県	PG-20-11,9BP	425.6m	伊万里市役所	伊万里浄化センター
H20・11	長崎県	PG-20-11BP	218m	諫早土木事務所	大村湾南部浄化センター
H20・12	広島県	PG-18-11	42.7m	広島県　三原市役所	下北方雨水ポンプ場
H21・1	広島県	PG-18-11BP	270m	日本下水道事業団	新地ポンプ場
H21・1	鹿児島県	PG-18-11BP	73.8m	九州農政局	目手久ファームポンド

年月	県名	商品名	延長	役所名	施設名
H21・1	茨城県	PG-18-11	10.5m	日本下水道事業団	岩瀬第二幹管
H21・2	千葉県	PG-18-11BP	44.4m	千葉市役所	稲毛黒砂貯留管その2工事
H21・2	沖縄県	PG-18-11BP	11.6m	日本下水道事業団	宜野湾浄化センター建設工事
H21・3	宮城県	PG-20-11A	15m	塩釜市役所	塩釜市水道庁舎
H21・5	福岡県	PG-18-11BP	32.3m	福岡市役所	綿打川河川改修工事
H21・9	熊本県	PG-20-11BP	127.2m	日本下水道事業団	水俣浄化センター建設工事
H21・9	宮崎県	PG-18-11BP	93.46m	日本下水道事業団	川南浄化センター建設工事
H21・10	広島県	PG-18-11BP	24.6m	日本下水道事業団	三津地区ポンプ場他建設工事
H21・10	福岡県	PG-20-11BP	11m	久留米市役所	久留米市上津ポンプ場建設工事
H21・10	福岡県	PG-18-11BP	24m	日本下水道事業団	北野ポンプ場建設工事
H21・11	沖縄県	PG-18-11BP+門扉	262.6m	日本下水道事業団	糸満浄化センター建設工事
H21・11	福岡県	PG-18-11BP	51m	北九州市役所	行橋浄化センター建設工事
H21・12	福岡県	PG-18-11.9BP+門扉	296m	福岡市役所	小郡市福童浄化センター建設工事
H21・12	熊本県	PG-20-11A、BP	13m	日本下水道事業団	球磨川上流整備工事
H22・1	福岡県	PG-18-11BP+門扉	197m	北九州市役所	行橋浄化センターその2工事
H22・2	佐賀県	PG-18-11.9BP	112.5m	日本下水道事業団	浜玉浄化センター建設工事
H22・2	広島県	PG-25-4.2（特）BP	20m	—	宮島警察官駐在所事務所内
H22・2	広島県	PG-18-11A	21m	日本下水道事業団	西部水資源再生センター建設工事その38
H22・2	山口県	PG-18-11.9BP	68m	周南市役所	周南市新地ポンプ場建設工事
H22・3	広島県	PG-18-11.9BP	61.5m	日本下水道事業団	坂町藤之脇ポンプ場建設工事
H22・4	広島県	PG-18-11.9BP	26.4m	日本下水道事業団	西部水資源再生センター建設工事その40
H22・5	福岡県	PG-20-11A、BP	271.3m	北九州市役所	曽根浄化センター2.3系最終沈殿池改築工事
H22・5	山口県	PG-18-11BP	18.6m	周南市役所	周南市新地ポンプ場建設その2工事
H22・5	山口県	PG-20-9（特）	9m	宇部市役所	宇部市西部浄化センター補修工事
H22・7	広島県	PG-18-11BP	11m	日本下水道事業団	新地ポンプ場設備工事
H22・9	広島県	PG-18-11.9BP	185.4m	日本下水道事業団	江波雨水滞水池建設工事
H22・9	福岡県	PG-18-11.9BP+門扉	204m	日本下水道事業団	山神浄水場建設工事
H22・10	佐賀県	PG-20-11.9BP	251.7m	日本下水道事業団	井手口浄化センター建設工事
H22・11	長崎県	PG-18-11A、BP	172m	日本下水道事業団	佐々町佐々浄化センター建設工事
H22・11	福岡県	PG-18-11BP+門扉	64.3m	日本下水道事業団	日出浄化センター建設工事
H22・12	熊本県	PG-18-11.9BP	39.5m	日本下水道事業団	益城浄化センター建設工事
H23・1	山口県	PG-18-11BP（壁付）	3.4m	日本下水道事業団	周南市新地雨水ポンプ場その2工事
H23・1	熊本県	PG-20-11BP	180.6m	日本下水道事業団	熊本西部浄化センター建設工事
H23・1	広島県	PG-18-11BP	16.86m	日本下水道事業団	三津地区ポンプ場他建設追加工事
H23・2	山口県	PG-18-11BP+門扉	6.2m	周南市役所	周南市新地雨水ポンプ場建設その3工事



日本下水道事業団アルミニウム製手摺



●設計条件

部材名	荷重方向	設計条件	
笠　木	水平方向	設計耐力	1.5ｋN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1.0ｋN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
支　柱	水平方向	設計耐力	2.7ｋNまたは3.0ｋN
		たわみ量	局部荷重500Nで1/100以下

- 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする。
- 支柱・笠木・控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用する補強材は JIS G 3101 による。SS400とし亜鉛めっきは JIS H 8610の5級（クロメート被膜は JIS H 8625のCM2C）以上とする。
- 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1 または SUSXM7Z）とする。

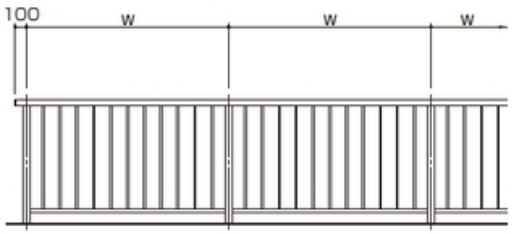
●形状

単位（mm）

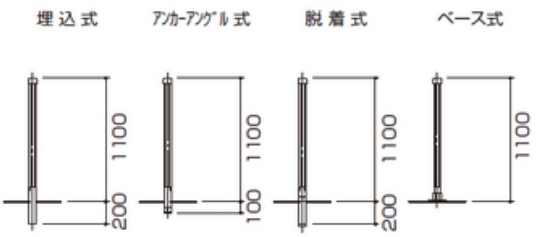
	支柱間隔	笠木	バラスター中心間隔	高さ	下部のすき間	控柱
廊下・バルコニー	1,800 又は 2,000	—	@150	1,100	100	—
屋　上	1,800 又は 2,000	—	@150	1,100	100	@3,600 又は—
階　段	1,500 内外	—	@125 以内	900	50	—
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

- 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。
- 切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。
- 設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもってこれに代える事が出来る。

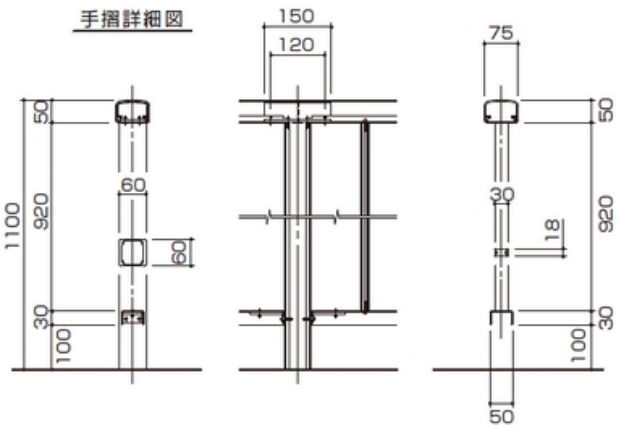
姿　図

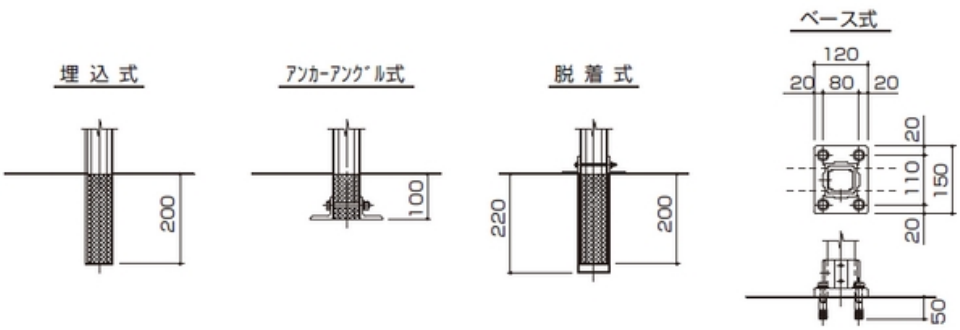

100
W
W
W

側　面　図


埋込式
ｱﾝｶｰｱﾝｸﾞﾙ式
脱着式
ベース式
1100
200
1100
100
1100
200
1100

手摺詳細図


150
120
75
50
60
60
1100
920
30
100
18
920
30
100
50


埋込式
ｱﾝｶｰｱﾝｸﾞﾙ式
脱着式
ベース式
200
100
220
200
120
20
80
20
20
110
150
20
50

街路柵　ストリートパイプ

安全な歩行者空間の確保の為に設計されてきた防護柵、街路柵にもデザイン性とともに強度、安全性、耐食性と「街に合ったストリートファニチュアーとのコーディネイト」を求める声が多く聞かれます。

ストリートパイプの持つフォルムと洗練されたカラーバリエーションにより防護柵のイメージをパスターは変えてきました。



地域の人々の生活に馴染めば、必ず道案内の目印になれる。

周りの風憩に優しければ、初めて訪れる人にもいつかふっと思い出してもらえる。

そんな「味」のある街を創りたい。

そして、最新の技術を駆使しても、決して「人工的」になりすぎず、通る時にいつでも何かを感じさせるような、そんな「人間らしい街」を創りたいとパスターは考えます。

自転車歩行者用防護柵の設計条件

資料集より抜粋

P種の横断防止柵の構造諸元については、下表のとおり定められている。

種別	形状	標準高さ		断面積	支柱間隔
		上端	下端		
P	自由	70～80ｃｍ	20～40ｃｍ	自由	自由

強度については特に規定していないが、人が腰かける場合等を考慮すると、柵の上端は垂直方向に40kgm程度の荷重に耐え得る構造とすることが望ましい。

他の部分についても、これらの値を参考にして柵が人力により簡単に変形しないような構造でなければならない。積雪地帯等で大きな荷重が予想される場合には特別な考慮が必要である。

また、橋梁上のように群集荷重がかかり、かつ路外への転落により危険が伴う場合には、水平方向に250kg/m以上の強度を有するものを用いる必要がある。この場合、柵高も標準の高さよりも高くする配慮が必要である。なお、チェーン形は、剛性は期待できないが、都市美感をそこなわず、歩行者に不快感を与えず、しかも着脱が容易であるので、これらの特性を生かせる場所に設置してもよい。

種類	高さ	支柱				
		支柱間隔（m）	標準寸法（mm）	埋込み深さ（ｃｍ）		備考
横断防止柵	80	3.0	Φ=60.5 t=3.2	E C W	100 40 20	コンクリート根固めを標準とする。 根固め寸法：30×30×40ｃｍ
転落防止柵	110	3.0	Φ=60.5 t=3.2	E C W	120* 80*（45） 20	土中建込みを標準とする。 根固め寸法：30×30×80ｃｍ または、30×30×45ｃｍ

注）1）Eは土中建込み、Cはコンクリート根固め、Wは等の天端のコンクリート中に配置する場合。

2）*の値は路肩側方余裕10cm以上50cm未満、のり勾配1割5分以上で中位の地耐力を有する土質条件（N10程度の砂質地盤）の場合。

3）（ ）内の値は路肩側方余裕50cm以上で、中位以上の地耐力を有する土質条件（N値10程度の砂質地盤）の場合。

4）支柱諸元には、積雪荷重は考慮されていない。なお、除雪作業等に支障となる場合には、着脱可能な構造を検討してもよい。

転落防止柵として縦桟形式の柵を使用する場合には、特に部材間隔に配慮し、用事のすり抜けを考慮して部材間隔を15cm以下とすることが望ましい。

垂直方向60kg/m、水平方向40kg/mの設計条件を満たす支柱諸元の例を上表に示す。なお、横断防止柵については、高さ80cmの例を示している。また、この設計条件（垂直方向60kg/m、水平方向40kg/m）で設計された転落防止柵に、W=60kg、V=20kg/h相当の衝撃力を柵面の直角方向に与えた場合でも、その変形が少なく転落防止という機能を十分にはたすことができるということが実験で確認されている。

キャップバリエーション





A 型



B 型



D 型



E 型

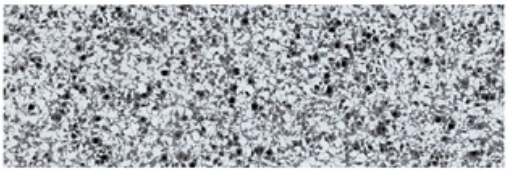


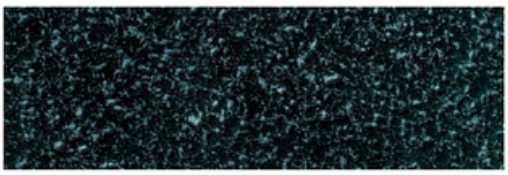
F 型

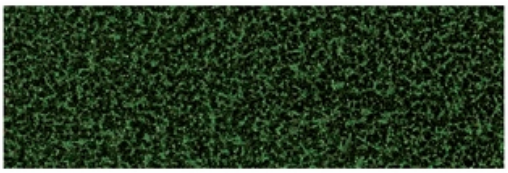
【規格表】

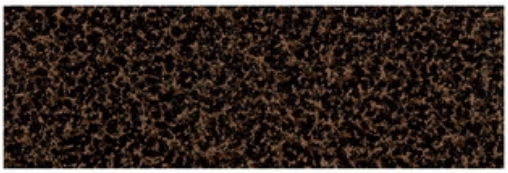
サイズ	A型	B型	D型	E型	F型
φ60.5	●	●	●		
φ76.3	●	●	●	●	●
φ89.1		●			
φ114.3	●	●			

色見本

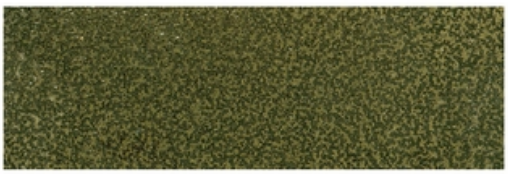

白御影石風塗装


黒御影石風塗装


AC青銅


ACブロンズ


ACシルバー


ACゴールド


255ブラウン


マイルドブラウン


パスターホワイト

パスターシルバー


パスターオレンジ

反射シートイエロー


高輝度反射シートイエロー


高輝度反射シートレッド

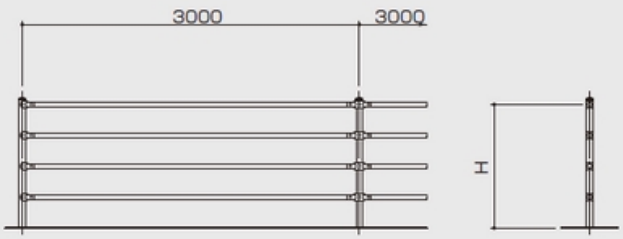

高輝度反射シートブルー


高輝度反射シートグリーン

防護柵

P6F-3(4)08(11)



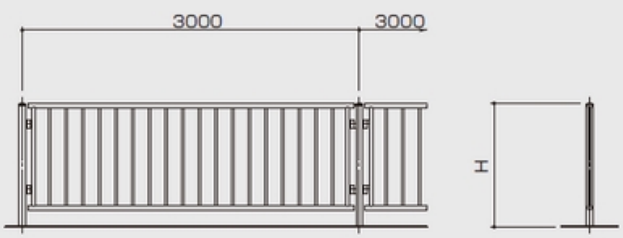


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ			
308W	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	200	9.2	P種
308C	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	400	9.6	P種
308E	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	1000	11.1	P種
411W	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	200	12.1	P種
411C	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	450	12.6	P種
411E	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	1200	14.3	P種

P6T-30-8(11)





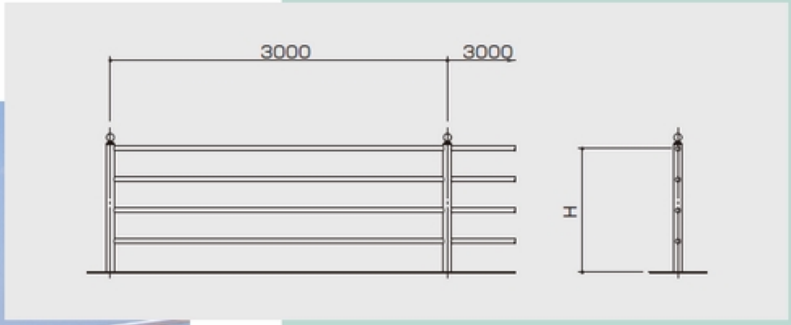
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	格子	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ			
30-8W	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	10.4	P種
30-8C	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	400	10.8	P種
30-8E	800	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	1000	11.7	P種
30-11W	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	13	P種
30-11C	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	450	13.4	P種
30-11E	1100	3000	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	1200	14.8	P種

防護柵

SP7-3(4)08(11)



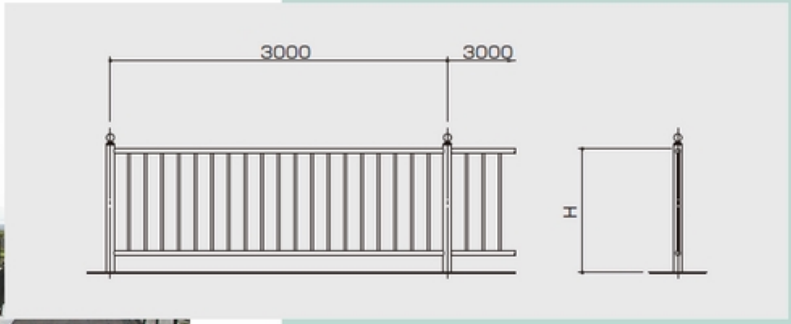


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ			
308W	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	200	9.1	P種
308C	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	400	9.5	P種
308E	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	1000	11	P種
411W	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	200	12	P種
411C	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	450	12.5	P種
411E	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	1200	14.2	P種

SP7T-30-8(11)





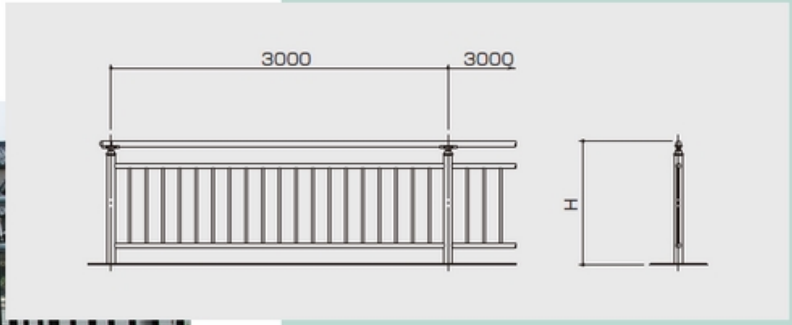
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	格子	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ			
30-8W	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	10.5	P種
30-8C	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	400	11	P種
30-8E	800	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	1000	12.5	P種
30-11W	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	13	P種
30-11C	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	450	13.5	P種
30-11E	1100	3000	φ76.3×3.2	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	1200	15.2	P種

防護柵

SP7TT-30-8(11)



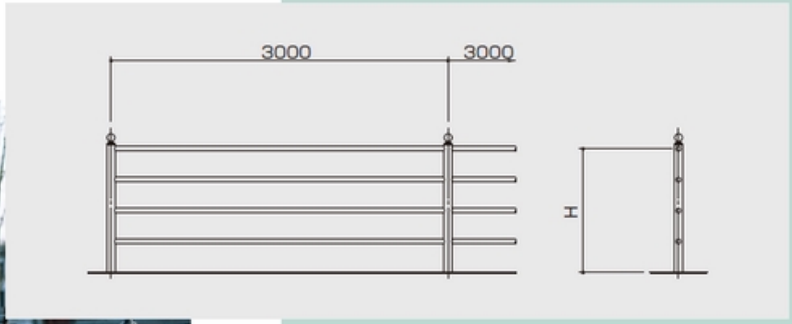


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	ビーム	格子	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ			
30-8W	800	3000	φ76.3×3.2	φ48.6×2.3	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	11.5	P種
30-8C	800	3000	φ76.3×3.2	φ48.6×2.3	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	400	12	P種
30-11W	1100	3000	φ76.3×3.2	φ48.6×2.3	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	200	13.2	P種
30-11C	1100	3000	φ76.3×3.2	φ48.6×2.3	φ42.7×2.3	φ21.7×1.9	450	13.7	P種

UP7-3(4)08(11)





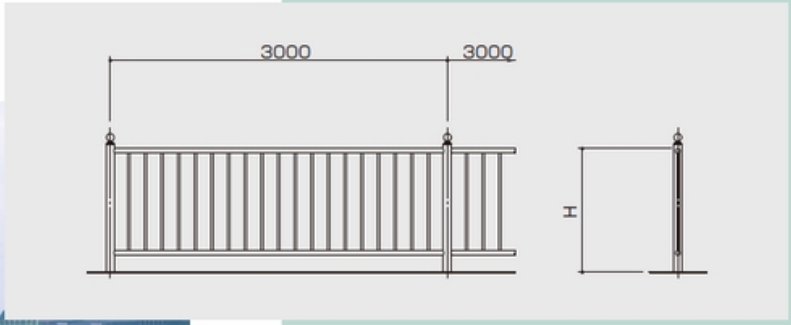
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ			
308W	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	200	8.2	P種
308C	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	400	8.6	P種
308E	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	1000	9.2	P種
411W	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	200	10.8	P種
411C	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	450	11.3	P種
411E	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	1200	11.8	P種

防護柵

UP7T-30-8(11)



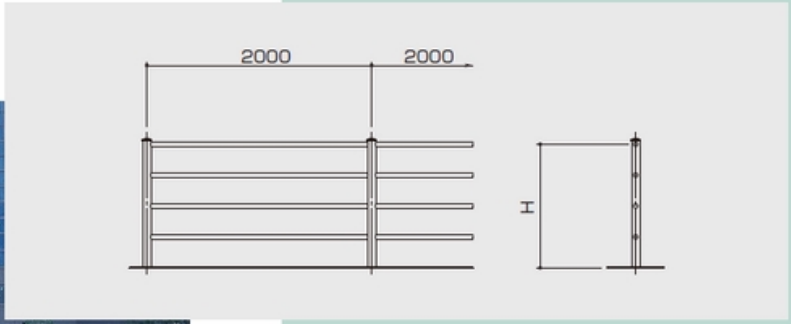


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	格子	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ			
30-8W	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	200	8.8	P種
30-8C	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	400	9.1	P種
30-8E	800	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	1000	16.7	P種
30-11W	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	200	10.7	P種
30-11C	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	450	11.2	P種
30-11E	1100	3000	φ76.3×3.0	φ42.7×2.0	φ21.7×1.5	1200	12.9	P種

PA-3(4)08(11)





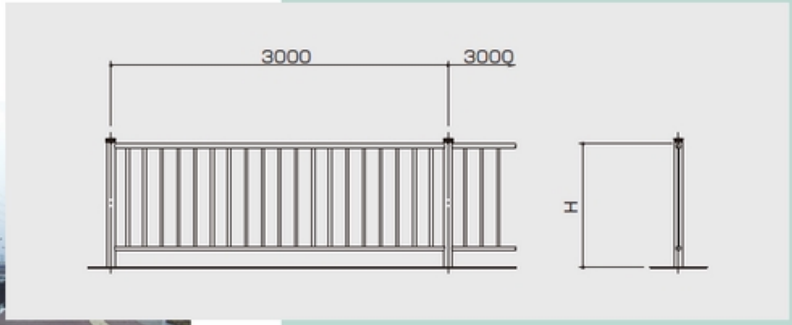
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量(m当たり)	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ			
308W	800	2000	φ75×2.5	φ40×3.0 (2.0)	200	3.9	P種
308C	800	2000	φ75×2.5	φ40×3.0 (2.0)	400	4.2	P種
411W	1100	2000	φ75×2.5	φ40×3.0 (2.0)	200	4.9	P種
411C	1100	2000	φ75×2.5	φ40×3.0 (2.0)	450	5.3	P種

防護柵

PATS-30-8(11)



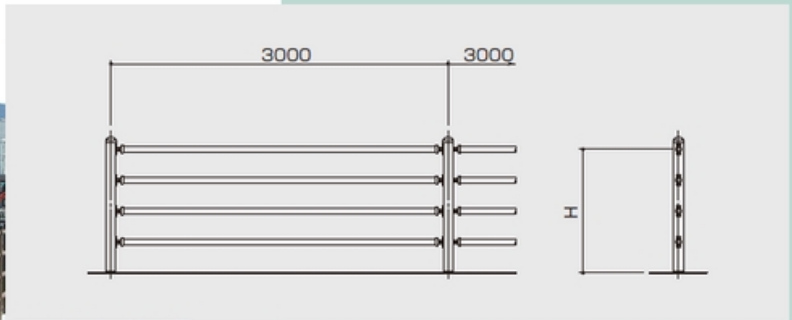


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	格子	埋込深さ	重量（m当たり）	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ	外径×厚さ			
30-8W	800	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	200	4.24	P種
30-8C	800	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	400	4.35	P種
30-8E	800	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	1000	4.69	P種
30-11W	1100	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	200	5.06	P種
30-11C	1100	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	450	5.2	P種
30-11E	1100	3000	φ75×2.5	φ40×2.5	φ25-20×1.5	1200	5.62	P種

PEW-3(4)08(11)



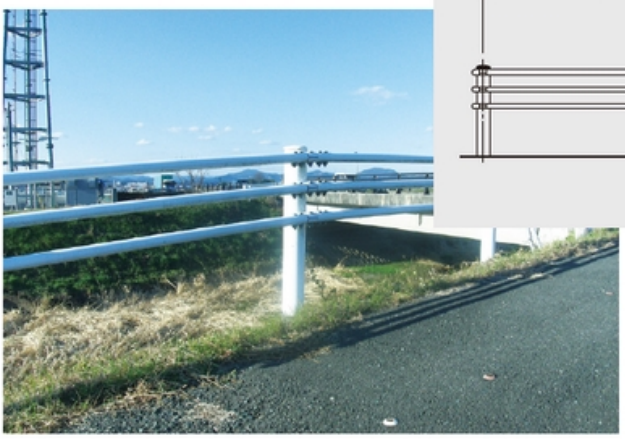


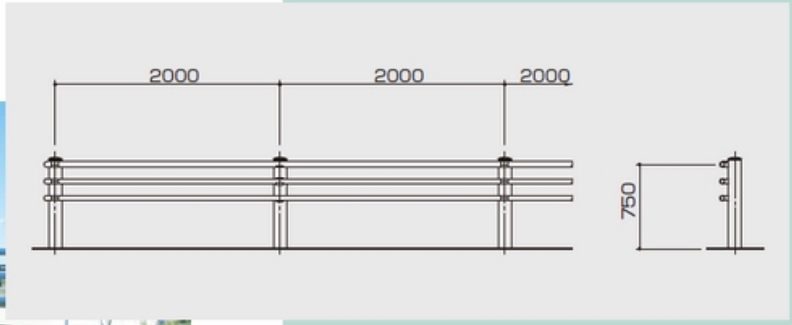
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（m当たり）	強度区分
			外径×厚さ	外径×厚さ			
308W	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ56-42.7×2.3	200	14.2	P種
308C	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ56-42.7×2.3	400	14.6	P種
411W	1100	2000	φ86-60.5×3.2	φ56-42.7×2.3	200	18.7	P種
411C	1100	2000	φ86-60.5×3.2	φ56-42.7×2.3	450	19.3	P種

防護柵

GPCP-2-308



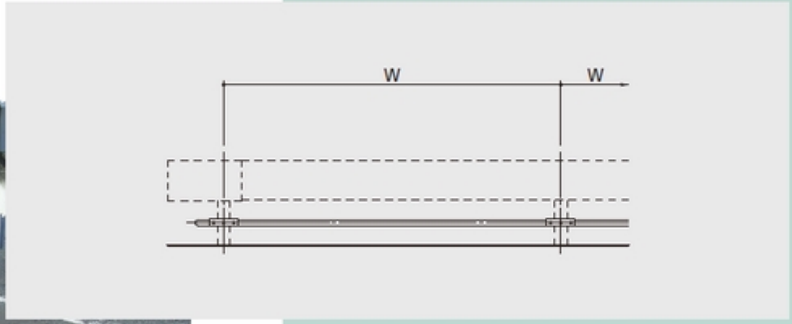


【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（m当たり）	強度区分
		外径×厚さ	外径×厚さ			
800	2000	φ114.3×4.5	φ48.6×2.4	400	9.2	C種

Gr-2B(4E)-1(2)





【規格表】

支柱間隔	ビーム	重量（m当たり）	強度区分
	外径×厚さ		
2000	φ48.6×2.3	1.3	P種

車止め



RSPシリーズ

RSP(Rord Side Pipe)

路上側のパイプそれがRSPです。
ちょっとした小路や、公園の入り口、交差点の角などは車や自転車の進入をふせぎながら歩行者の為のスペースを確保しなければなりません。完全に遮断せず、防御する必要があります。
このような状況下で車止め桟、RSPシリーズが便利です。

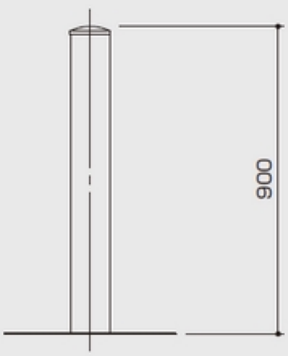
RSP 60



RSP 76



RSP 114



【規格表】

呼称	本体高さ	支柱 外径×厚さ	埋込深さ	重量 (1基当たり)
RSP60	900	φ60.5×3.2	400	5.6
RSP76	900	φ76.3×3.2	400	7.2
RSP114	900	φ114.3×4.5	400	15.2

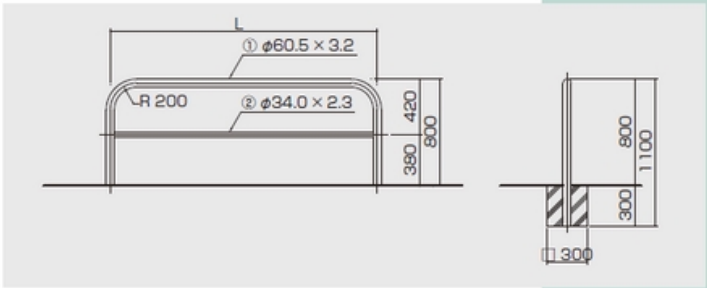
車止め



安全柵
セパレイトフェンス

自転車歩行者用の防護柵を使用している現場で事故が発生したり老朽化により一部を取替ようとするとき、横ビームタイプやパネルタイプの場合破損していない部分まで取替を行ってきました。
「まだ使えるのに」、「取替作業が問題だ」との声が多く聞かれました。
このセパレートフェンスなら安心です。破損してもその1枚だけですみます。またサイズも各種取り揃えています。

SF8-1
（白）

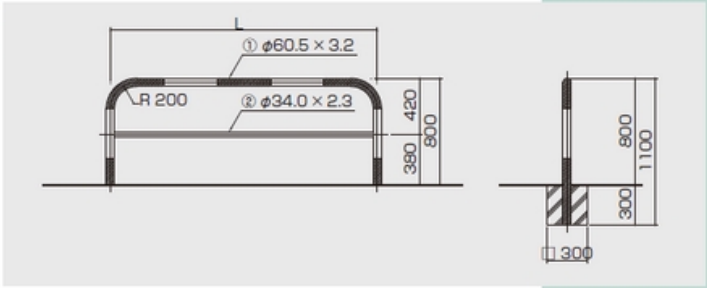


※脱着用さや管もあります。
※赤白タイプも用意しております。

【規格表】

呼称	長さ	本体高さ	支柱 外径×厚さ	ビーム	埋込深さ	重量（1基当たり）
SF8-1-30	3000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	23.5
SF8-1-25	2500	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	21.2
SF8-1-20	2000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	18.9
SF8-1-15	1500	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	16.7
SF8-1-10	1000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	14.4

SF8-2
（赤白）



※脱着用さや管もあります。
※赤白タイプも用意しております。

【規格表】

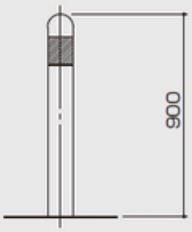
呼称	長さ	本体高さ	支柱 外径×厚さ	ビーム	埋込深さ	重量（1基当たり）
SF8-2-30	3000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	23.5
SF8-2-25	2500	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	21.2
SF8-2-20	2000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	18.9
SF8-2-15	1500	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	16.7
SF8-2-10	1000	800	φ60.5×3.2	φ34×2.3	400	14.4

車止め

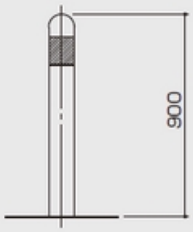
RSPH-11B
RSPH-89B



RSPH-11B



RSPH-89B

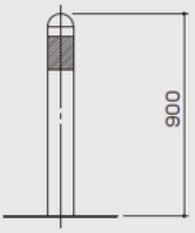


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱 外径×厚さ	埋込深さ	重量（1基当たり）
RSPH-89B	900	φ89.1×3.2	400	8.8
RSPH-11B	900	φ114.3×4.5	400	15.8
RSPH-89B脱着式	900	φ89.1×3.2	250	7.8
RSPH-11B脱着式	900	φ114.3×4.5	250	13.5

RSP-11B





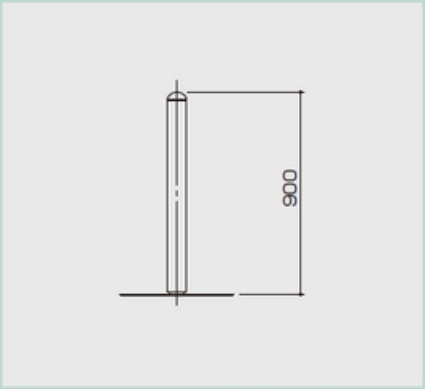
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱 外径×厚さ	埋込深さ	重量（1基当たり）
RSP-11B	900	φ114.3×4.5	400	15.9
RSP-11B脱着式	900	φ114.3×4.5	250	13.6

車止め

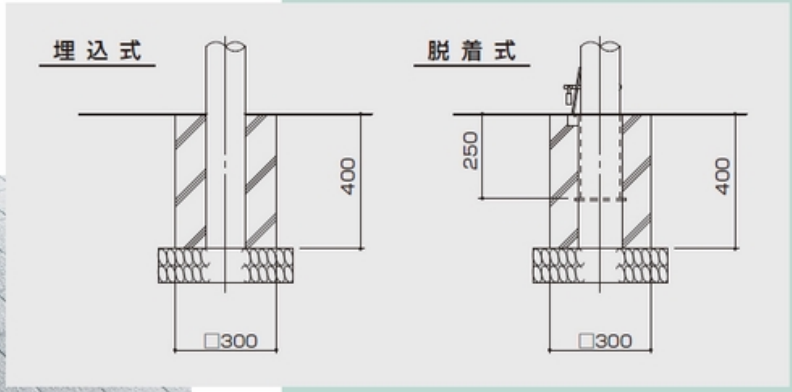
RSPEW





【規格表】

呼称	本体高さ	支柱 外径×厚さ	埋込深さ	重量（1基当たり）
RSPEW	900	φ86-60.5×3.2	400	7.9
RSPEW脱着式	900	φ86-60.5×3.2	250	7.2



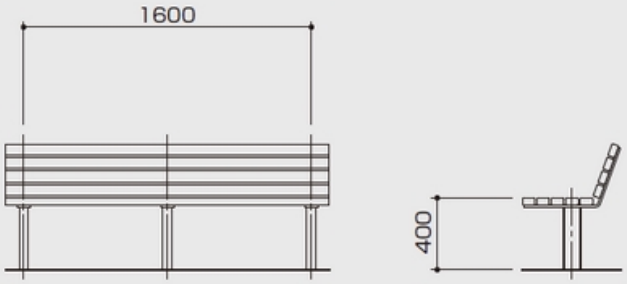


※さし込みピンも含みます。
※南京錠はご用意ください。

ベンチ

HEB-P2-W1800S

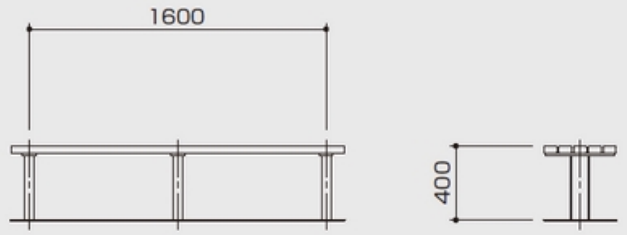




【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	埋込深さ	重量（1基当たり）
P-W1600S	400	1600	400	43

HEB-P2-W1800S

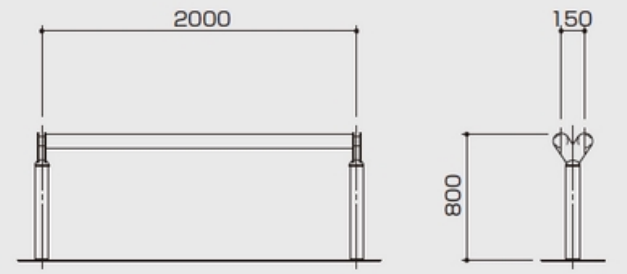


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	埋込深さ	重量（1基当たり）
P-W1600N	400	1600	400	52

HEB-P3-W2000S





【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	ビーム	埋込深さ	重量（1基当たり）
			外径×厚さ	外径×厚さ		
ハートベンチ	800	2000	φ86-60.5×3.2	φ86-60.5×3.2	400	52

ベンチは、公園や広場、駅の待合室やプラットホームなどといった、公共空間に設けられています。

背もたれ無しの腰掛けタイプや、長椅子タイプのほか、上から見ると丸型や角型など、その他様々な形状のベンチがあります。肘かけのないもの、あっても両端部にのみ設置しているものが多く、背の部分がないベンチも多く設置されています。

材質もさまざまで、石や、木、合成樹脂等が用いられ、骨部はスチール材が用いられるものが主流となっています。一人掛けの物、基本的には2人以上座れるものが多く設置されています。しかし、設計上の定員はあるものの、荷物置き等に使われるなどで、実際にその定員を守ることが利用者のマナーに委ねられています。

現代の都市社会において、公共施設に設置されるベンチにはリサイクル材が用いられることが多くなりました。



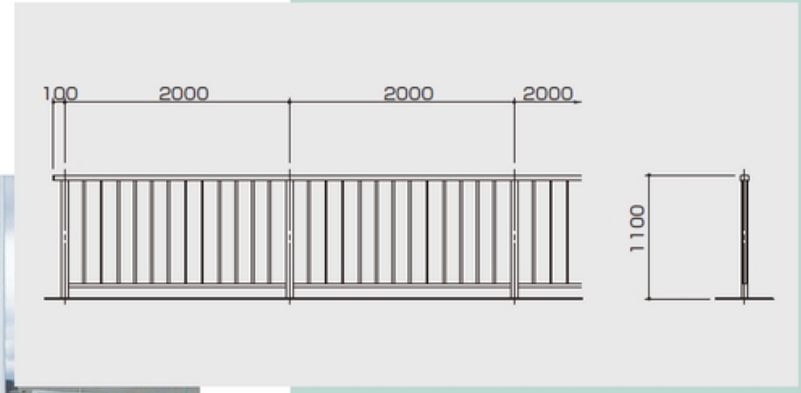






フェンス

PG

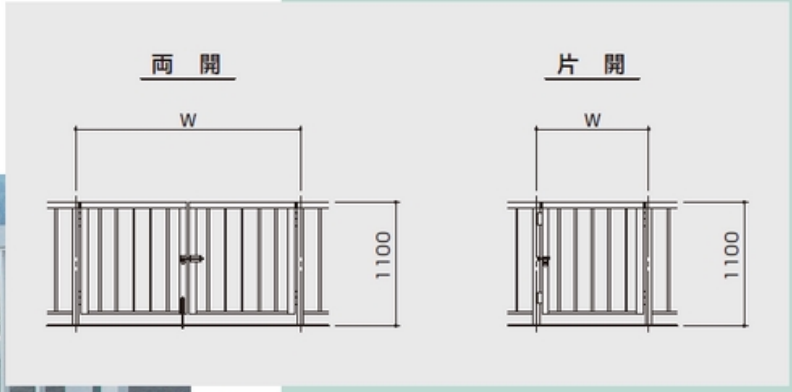


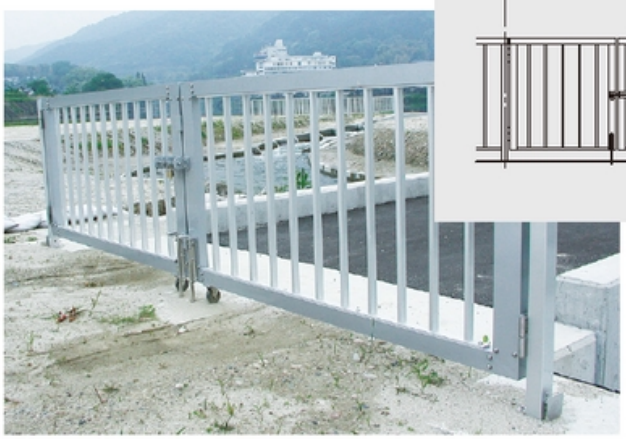


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	笠木	ボトムレール	バラスター
			外径	外径	外径	外径
PG-20-09	900	2000	□60×60	75×50	50×30	□30×18
PG-20-11	1100	2000	□60×60	75×50	50×30	□30×18
PG-20-15	1500	2000	□60×60	75×50	50×30	□30×18
PG-20-18	1800	2000	□60×60	75×50	50×30	□30×18

PG





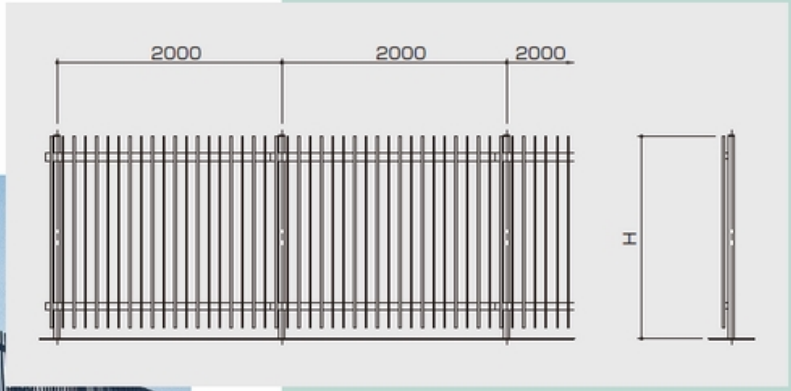
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	開き
PG-10-09	900	1000	片開き
PG-10-11	1100	1000	片開き
PG-10-15	1500	1000	片開き
PG-10-18	1800	1000	片開き
PG-20-09	900	2000	両開き
PG-20-11	1100	2000	両開き
PG-20-15	1500	2000	両開き
PG-20-18	1800	2000	両開き

フェンス

FTA-1

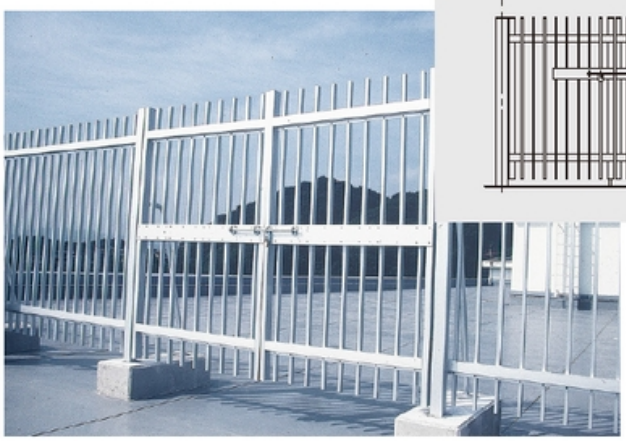


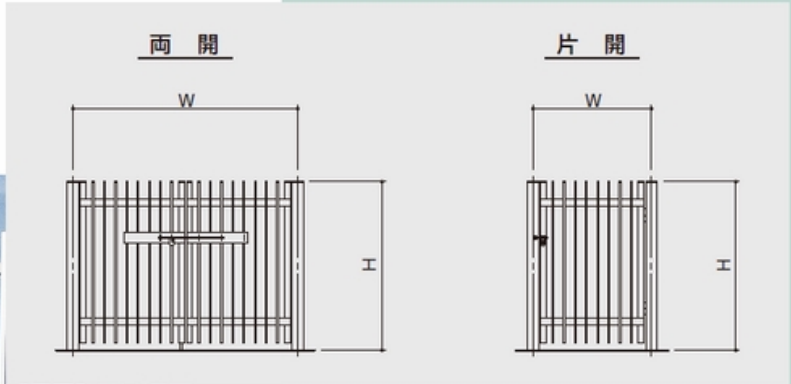


【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	胴縁	バラスター
			外径	外径	外径
FTA-1-900	900	2000	□50×50	70×30	□30×15
FTA-1-1100	1100	2000	□50×50	70×30	□30×15
FTA-1-1500	1500	2000	□50×50	70×30	□30×15
FTA-1-1800	1800	2000	□50×50	70×30	□30×15

FTA-1





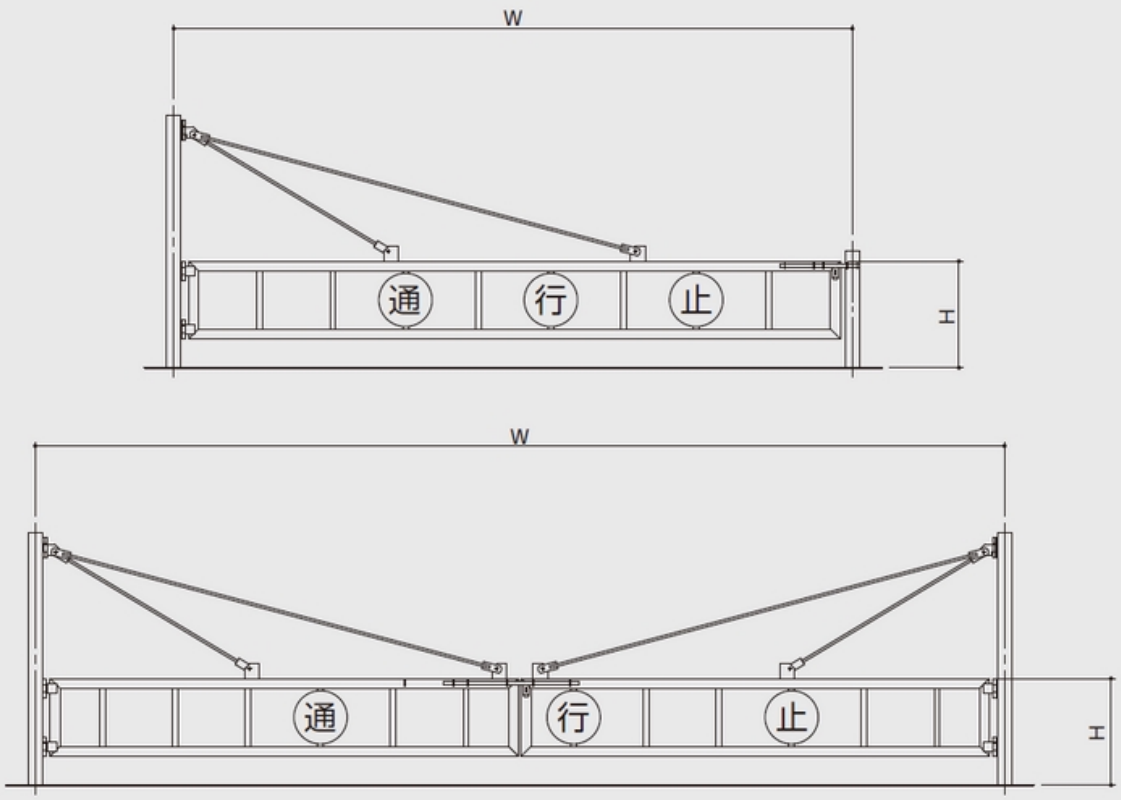
【規格表】

呼称	本体高さ	支柱間隔	開き
FTA-1-10-09	900	1000	片開き
FTA-1-10-11	1100	1000	片開き
FTA-1-10-15	1500	1000	片開き
FTA-1-10-18	1800	1000	片開き
FTA-1-20-09	900	2000	両開き
FTA-1-20-11	1100	2000	両開き
FTA-1-20-15	1500	2000	両開き
FTA-1-20-18	1800	2000	両開き

遮断機



遮断機は、気象等による通行障害の発生時において、道路管理者として利用者の通行障害発生区間への進入を抑止するための手段として設置することを目的とします。



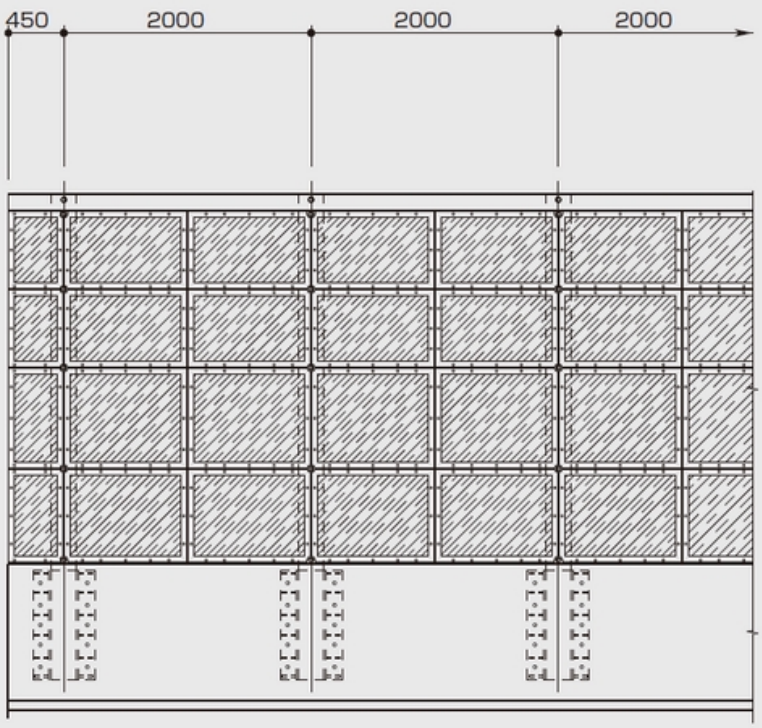
【規格表】

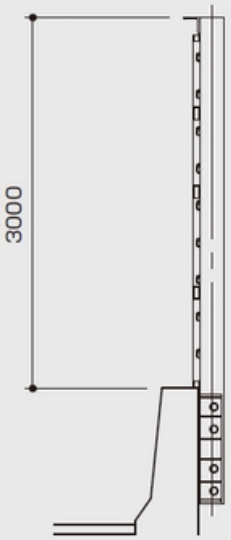
呼称	本体高さ	支柱間隔	支柱	本体	格子	開き
			外径	外径	外径	
5-08	800	5000	□150×150	100×50	60×30	片開き
5-12	1200	5000	□150×150	100×50	60×30	片開き
10-08	800	10000	□150×150	100×50	60×30	両開き
10-12	1200	10000	□150×150	100×50	60×30	両開き

積荷転落防止柵



積荷転落防止柵はトラック等に積載された荷物等が橋梁外への飛散を防止すると共に、桁下の車両及び電車への二次災害を防止します。





【規格表】

本体高さ	支柱間隔	支柱	胴縁	胴縁	胴縁	ベース	パンチング
		外径	外径	外径	外径		
3000	2000	□200×200	L-130×130	□100×50	□50×50	PL16	PL3.2

カーブミラー

ゴコウミラー

■ ステンレス製ミラー

光輝性に優れ、耐候性のあるステンレスミラー・SR フード採用



ステンレスミラーのサイズ・曲率(mm)

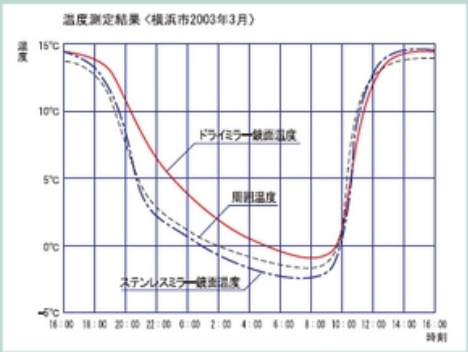
	サイズ	曲率半径	鏡面板厚
丸型	φ600	R2,200	1.0
	φ800	R3,000	1.0
	φ1000	R3,000	1.0
角型	450×600	R3,000	1.0
	600×800	R3,600	1.0

ゴコウどぅ　リブどぅ

■ ステンレス製防曇ミラー

気温蓄熱方式で、どんな天候にも曇らない防曇ミラー





ライトミラー

■ アクリル製ミラー

鏡面裏板にプレス加工をしたアルミを使い、鏡以外は全てマテリアルリサイクル可能



21世紀のニーズに応えた画期的なライトミラー
地球環境にやさしい製品です。

・裏板、フード、取付枠にアルミを使用。
産廃のコストを軽減します。

・今までは産業廃棄物扱いだったものが
再利用資源として扱われます。

・鏡面以外は全てマテリアルリサイクル可能です。

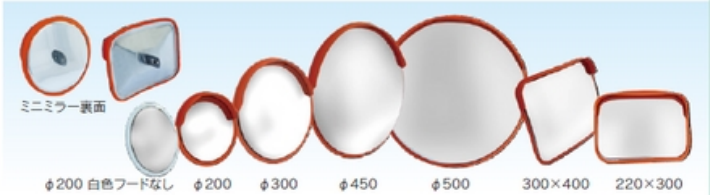
アクリルミラーのサイズ・曲率(mm)

	サイズ	曲率半径	鏡面板厚
丸型	φ600	R2,200	3.0
	φ800	R3,000	3.0
	φ1000	R3,600	3.0
角型	450×600	R3,000	3.0
	600×800	R3,600	3.0

安全防犯ミラー

■ ステンレス製ミニミラー

死角をなくして安心生活。事故防止・災害防止・防犯のためにぜひお備えください



フードは当たっても柔らかくて
安全な合成樹脂製

■ 自転車・歩行者対策に

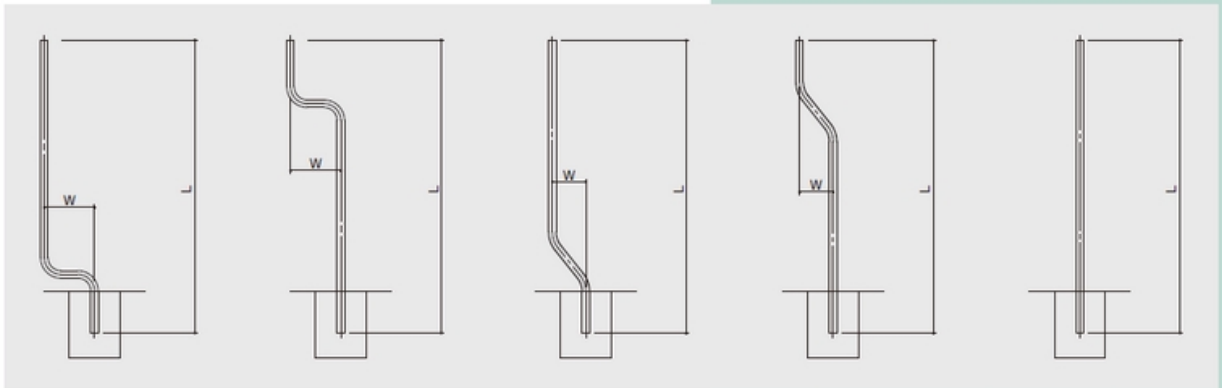
■ 車庫・駐車場の出入口に

■ エレベーターや廊下に

ポール







ポール／サイズ	
60.5 φ× 2.3 t × 1500	直
60.5 φ× 2.3 t × 2000	直
60.5 φ× 2.3 t × 2500	直
60.5 φ× 2.3 t × 3000	直
60.5 φ× 2.8 t × 3000	直
60.5 φ× 2.3 t × 3500	直
60.5 φ× 2.8 t × 3500	直
60.5 φ× 2.3 t × 4000	直
60.5 φ× 2.8 t × 4000	直
60.5 φ× 2.3 t × 4200	直
60.5 φ× 2.8 t × 4200	直
60.5 φ× 3.2 t × 3500	直
60.5 φ× 3.2 t × 4000	直
60.5 φ× 3.2 t × 4500	直
60.5 φ× 3.2 t × 5000	直
76.3 φ× 2.8 t × 3000	直
76.3 φ× 2.8 t × 3500	直
76.3 φ× 2.8 t × 4000	直
76.3 φ× 2.8 t × 4200	直
76.3 φ× 2.8 t × 4500	直
76.3 φ× 2.8 t × 5000	直
60.5 φ× 2.8 t × 4200	直
76.3 φ× 3.2 t × 4000	直
76.3 φ× 3.2 t × 4200	直
76.3 φ× 3.2 t × 4200	直
76.3 φ× 3.2 t × 4500	直
89.1 φ× 3.2 t × 5000	直
76.3 φ× 3.2 t × 5000	直
89.1 φ× 3.2 t × 3500	直

ポール／サイズ	
89.1 φ× 3.2 t × 4000	直
89.1 φ× 3.2 t × 4500	直
89.1 φ× 3.2 t × 5000	直
89.1 φ× 3.2 t × 5000	直
60.5 φ× 2.3 t × 4500	直
60.5 φ× 3.2 t × 3000	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 3000	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 3500	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 3500	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4000	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4000	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4200	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4200	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4500	クランク曲
60.5 φ× 3.2 t × 4500	クランク曲
76.3 φ× 3.2 t × 3500	クランク曲
60.5 φ× 2.8 t × 3500	上曲
76.3 φ× 3.2 t × 4000	クランク曲
76.3 φ× 3.2 t × 4400	上曲
76.3 φ× 3.2 t × 4200	クランク曲
76.3 φ× 3.2 t × 4200	クランク曲
76.3 φ× 3.2 t × 4500	クランク曲
76.3 φ× 3.2 t × 4500	クランク曲
89.1 φ× 3.2 t × 5000	S曲白
76.3 φ× 3.2 t × 5000	クランク曲
89.1 φ× 3.2 t × 5000	S曲白
89.1 φ× 3.2 t × 4000	クランク曲
89.1 φ× 3.2 t × 4200	クランク曲
89.1 φ× 3.2 t × 5000	クランク曲

ミラーポール／サイズ		
76.3 × 3600	特曲	下地亜鉛
76.3 × 3600	直	下地亜鉛
76.3 × 3600	S直	下地亜鉛
76.3 × 3600	直	亜鉛メッキ
76.3 × 3600	S直	亜鉛メッキ
76.3 × 3600	上S曲	下地亜鉛
76.3 × 3600	クランク 700	下地亜鉛
76.3 × 3600	クランク 500	下地亜鉛
76.3 × 4000	特曲	下地亜鉛
76.3 × 4000	直	下地亜鉛
76.3 × 4000	S直	下地亜鉛
76.3 × 4000	直	亜鉛メッキ
76.3 × 4000	S直	亜鉛メッキ
76.3 × 4000	上S曲	下地亜鉛
76.3 × 4000	クランク 700	下地亜鉛
76.3 × 4000	クランク 500	下地亜鉛
89.1 × 4400	特曲	下地亜鉛
89.1 × 4400	直	下地亜鉛
89.1 × 4400	S直	下地亜鉛
89.1 × 4400	直	亜鉛メッキ
89.1 × 4400	S直	亜鉛メッキ
89.1 × 4400	上S曲	下地亜鉛
89.1 × 4400	クランク 700	下地亜鉛
101.6 × 4800	特曲	下地亜鉛
101.6 × 4800	直	下地亜鉛
101.6 × 4800	S直	下地亜鉛
101.6 × 4800	直	亜鉛メッキ
101.6 × 4800	S直	亜鉛メッキ
101.6 × 4800	上S曲	下地亜鉛
101.6 × 4800	クランク 700	下地亜鉛

Back To Basic

「機能性を追求していくと基本的なカタチにもどっていく。」と当社は考えます。

どのような環境にもすんなりととけこむシンプルなデザイン、長い間、人々の生活の中で伝えられてきたカタチ、基本的なフォルムだからこそ現代的エッセンスを加えても違和感なくマッチして見えます。

“街の風景の中でさりげなくたたずんでいる商品”を私たちはこれからも供給していきたいと考えます。



RTOK-A-3B-85



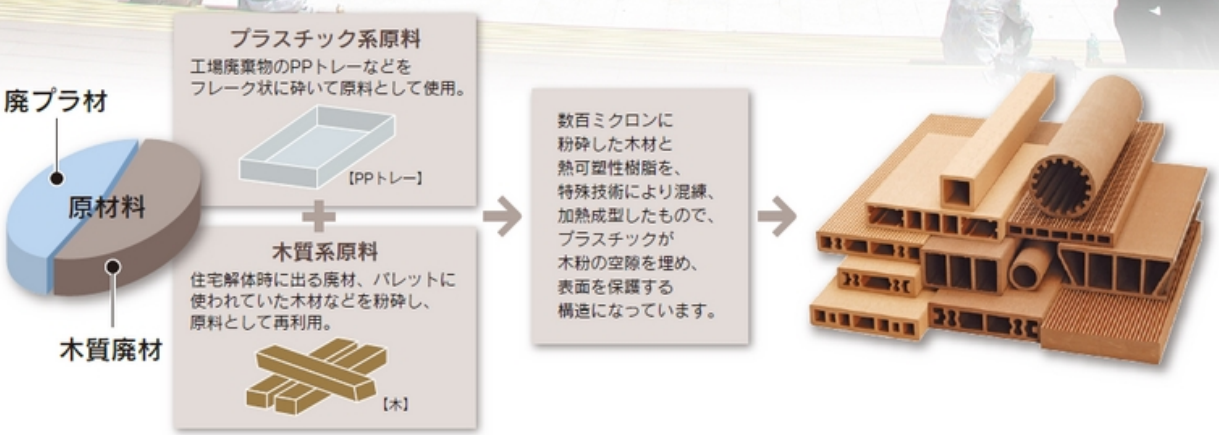
エコMウッドとは

木材・プラスチック再生複合材

エコMウッドは建築現場や工場から排出される廃木材を粉体化して、
そこに不要材料として出た廃プラスチックを配合し、成型しています。
つまり原材料はほぼ100%リサイクル素材です。
廃材を利用しているため、新規原料資源の消費がありません。
現在、エクステリアのデッキ、フェンス、バーゴラ、ルーバー、ベンチ等、
一般外装建材として幅広く利用されています。







環境・性能

**エコMウッドは、リサイクル材を原材料として使うだけでなく、
使用後の製品も再生する多回リサイクル性能を持つ循環型素材です。**

- 原材料は建築解体材と廃プラスチックを使用、リサイクル率は90%以上。また、使用後の製品を再粉砕し、同じ製品へ再生可能です。
- 北九州市で生産される本製品は、ウッドマイルズ比較でイペ等の輸入材の約1/6のCO_2排出量。
《本製品：48kg-CO_2/m^3　外材平均：283kg-CO_2/m^3》
- 既設デッキ等に使用されている天然木材を廃棄処理せずに原料として使用できます。
- CASBEEにおいて、本製品を建築物に使用することにより評価ポイントを獲得できます。

安全・安心

**エコMウッドは、高い耐候性を持つロングライフな製品です。
それはデッキの安全性能が長く維持されることにつながります。**

- とげ、ささくれが発生することがありません。
- 腐れ、蟻害をほとんど受けません。
- 促進耐候劣化試験で約94%、2年間の屋外暴露試験で約99%強度を保持。
- 有害物質およびホルムアルデヒド放散量もJIS規格値以下の極めて低い値です。

快適・性能

**エコウッドでは、居心地の良い空間作りをお手伝いするため、
使用目的に応じた形状や原料配合開発を行っています。**

- 滑り抵抗係数(CSR値)0.82～0.92で、歩行快適性と安全性を両立しています。
- 摩擦試験において天然木（イペ材）の摩耗量の約1/3という高い摩耗性能が示すように、滑りにくく、その効果が持続します。
- デッキ・ルーバー・ベンチ等、用途に合わせた断面形状を各種取り揃えています。
- お客様の用途に合わせて、設計から型起し・製品までオリジナルのものを製作することも可能です。

安定供給・安定品質

**エコMウッドは、ISO9001認証をはじめ、
JIS表示製品の認定も受けている品質保証体制のしっかりした工業製品です。**

- エコウッドは再生木材生産工場としては、日本最大級の年間5,000tの生産能力を持っています。
- お客様の需要の変化に対応し、スケールメリットを活かしたコストで高品質な製品をいつでも安定供給。
- JISマーク表示認定、ISO9001、エコマーク等各種公的認定を取得。

生産工程

厳しい品質管理体制

ISO9001、JISマーク表示製品認定に値する品質管理体制を構築・実施するとともに、
更なる製品の信頼性向上を目指し、常に品質マネジメントシステムの改善に取り組んでいます。

木質系原料（廃木材）

住宅解体時に出る廃材
（柱材・梁材等）



中間処理業者

廃木材の破砕



廃木材受入および粉砕

受入検査後、粗破砕→異物除去（金属・小石など）→1次粉砕→2次粉砕の段階的な粉砕を行い
最終的にふるい機で粒度を揃えた木粉（数百ミクロン）を配合工程へ送ります。

原材料の受入検査
●含水率
●異物 他
管理項目
●粒度 他

受入 → 破砕 → 1次粉砕 → 2次粉砕

プラスチック原料（廃プラスチック）

プラスチック工場
（樹脂成型工程から
発生する端材等）



廃プラスチック受入および粉砕

受入検査後、粉砕機により10mm以下に
粉砕し、配合工程へ送ります。

原材料の受入検査
●含水率
●異物 他
管理項目
●粒度 他

受入 → 粉砕

原料の配合および中間原料の作製

原料となる廃木材、廃プラスチックおよび副資材を
所定の比率にて加熱混合し中間原料を作製します。

計 量 → 混練混合 → 冷 却 → 中間原料

添加剤
着色剤 等

押出機による押出成型

押出機により中間原料を再度加熱し、
金型を用いて所定の形状へ成型します。

品質試験
●密度 ●吸水率 ●長さ変化率 ●曲げ特性 他
管理項目
●外観（やせ、割れ 他）●色味（色差）他

加工工程

プレーナー、木口木目、表面木目
面取り加工を行います。

管理項目
●表面の状態 ●幅、厚さ寸法 ●C面寸法
●木目加工の状態 ●反り、曲がり 他

製品検査および梱包

外観、寸法、断面形状等の検査実施後
梱包仕様に基づき梱包を行います。

製品検査項目
●外観（傷・異物混入）●長さ ●幅、厚み
●各部位肉厚 ●断面、色、員数 ●梱包外観 他



製品
生産能力
5,000t/年

公的認定

JISマーク表示製品認証の取得

お客様のニーズに対して、常に安定した供給が可能なエコMウッドは、
「JISマーク表示製品の認定」をはじめ、多くの認証を取得している安心素材です。

エコウッドは業界に先駆けて平成20年2月14日付けで
「木材・プラスチック再生複合材 JIS A 5741」のJISマーク表示製品認証を取得しました。

エコウッドはJISの制定に向けた活動に積極的に参加、JIS化実現後は製品品質に対する信頼性の更なる向上を目指して、いち早く認定を取得しました。

■ JISマーク表示製品認証取得

認証機関：財団法人建材試験センター
認証番号：TC 08 07 161
規格番号：JIS A 5741(木材・プラスチック再生複合材)
認証範囲：エクステリア
被認証者：株式会社エコウッド
福岡県北九州市若松区響町1丁目12-1




エコMウッドの
リサイクル材料含有率は
90%以上

■ ISO9001：2008認証取得

登録番号：RQ1931
供給する製品またはサービス
木材・プラスチック再生複合材の設計および製造




■ エコマーク認定商品

認定番号：07 137 003
「建築製品(外装・外構工事関係用資材)
Version1.0」





エコマーク認定番号
07 137 003
・商品ブランド名：エコMウッド
・使用契約者名：株式会社エコウッド

■北九州市 建設リサイクル資材認定商品

認定番号：第0042号
「デッキ材」



■ 九州環境ビジネス大賞 優秀賞

九州地域環境リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)が主催する
「第1回九州環境ビジネス大賞」において、
弊社製品「エコMウッド」が優秀賞を受賞しました。



『K-RIP』とは
主に九州の環境に関する産官学からなるネットワーク組織(任意団体)です。

『九州環境ビジネス大賞』とは
地球環境問題に対応した九州の企業の優れた製品・サービスに対し、K-RIPが表彰を行い当該製品に対する社会的認識の拡大、製品・サービスの販路拡大等の寄与を目指す目的で2009年度より運営が開始された制度です。
(経済産業省 産業クラスター施策の補助を受けて実施されております。)

■ 福岡産業デザイン賞

福岡県及び福岡産業デザイン協議会が主催する
「第12回 福岡産業デザイン賞」において、
弊社製品「エコMウッド」がゲスト審査員賞と
奨励賞をダブル受賞しました。

『福岡産業デザイン賞』とは
企業のデザイン力の向上と生活者のデザインマインドの高揚を目的に県内で生産された製品の中から、市場性を有しオリジナリティが高いデザインの優れた商品を表彰・推奨しています。





■ 国土交通省NETIS (新技術情報提供システム認定商品)

認定番号：KT-030002-QS-030036
建築廃木材利用建築資材

■ 新建築技術認定商品

認定番号：BCJ-AIBT-25
「建築物又は工作物に使用する再生有機系建材」

■ 北九州エコプロダクツ選定製品

認定番号：45
「省資源」「長寿命」分野にての環境配慮型商品

CASBEE（建築環境総合性能評価システム）

CASBEEにおいて、本製品をデッキ材等で使用する事により評価ポイントを獲得することができます。

キャスビー
CASBEEとは

CASBEEは、建築物の「環境品質・性能」と「環境負荷」を同時に評価するシステムとして平成15年に国土交通省、学識経験者などの産官学の共同により開発されたもので、建築物がどれだけ環境に配慮した建物であるかを判断する物差しとなります。
取組みの結果は、S、A、B+、B-、Cの5段階で評価され、各自治体のホームページ等で公表されます。
(2010年11月現在、名古屋市・大阪市・横浜市・京都市・京都府・大阪府・神戸市・川崎市・兵庫県・静岡県・福岡市・札幌市・北九州市・さいたま市・埼玉県・愛知県・神奈川県・千葉市・鳥取県・新潟市・広島市・熊本県の計22の自治体で導入)

Eco-MWood Series エコMウッドシリーズ



広川SA店舗施設



山田SA横ルーバー



山田SA縦ルーバー



紫川防護柵



善導寺介護施設



筑後船小屋駅フェンス



白木パノラマ公園防護柵



福岡市冷泉公民館デッキ



福岡市冷泉公民館ルーバー



豊原海岸防護柵



北九州市なかよし橋高欄



北九州市学術公園東屋

Eco-MWood Series エコMウッドシリーズ



北九州市江川デッキ



北九州市紫川浮桟橋



北九州市築城公園サイン



北九州市築城公園高欄



北九州市茶屋町公園防護柵



北九州市板櫃川防護柵



UR香椎エントランスルーバー



UR香椎ルーバー



クラシオンルーバー



クラシオン階段



グランドメゾンバルコニーデッキ



グランドメゾン花台



グランドメゾン今川



グランドメゾン室見フェンス



グランドメゾン手すり



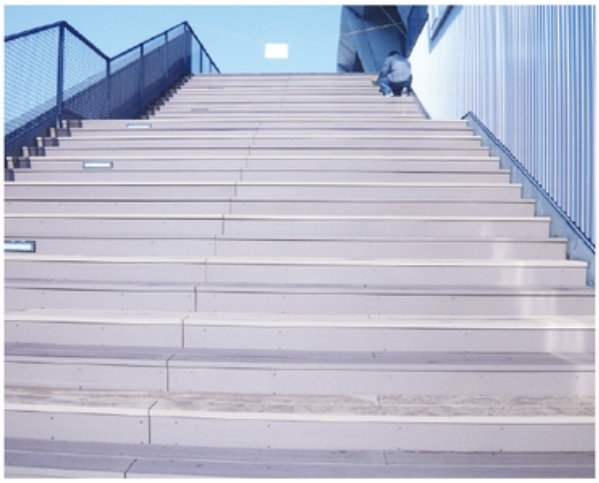
さくら館ルーバー



シーサイド百道天井ルーバー



まつかぜ荘ルーバー



マリンメッセ階段デッキ



遠賀駅ベンチ



沖縄県海洋博公園パーゴラ



甘木市防護柵



桂川町しおかわき橋高欄

生産物賠償責任保険制度 加入

当社が製造・販売した製品の欠陥等により他人の身体や財産に損害を与えた場合法律上の損害賠償規約に基づき保険金を支払うものです。

支払限度額：3億円（対人・対物共通/保険期間中）

木道（遊歩道）

木道（遊歩道）とは

1-1　定義

木道とは湿地帯を歩く為に設けられた木の歩道である。
遊歩道とはレクリエーション森林内に設置されている歩道の内、専ら森林浴、自然観察等を主目的とした自然観察路、野鳥観察路等の歩道である。



1-2　目的と設置理由

もともとは歩きやすくする目的で整備されたものであった。しかし、整備されていない箇所は自由に歩き回り踏み荒らしによる植物の荒廃が進んだため、植生復元事業、環境保護事業として、最近では「利用者保護」と同様に「植物保護」を目的として整備が進められている。



木道（遊歩道）の設置について

2-1　構造一般

木道や遊歩道は歩行が困難で高低差がある場所に設置されるケースが多く、利用者も多いことから、構造的に丈夫なもので破損・破壊しないものでなくてはならない。又、長期にわたり利用される為、耐久性が良くメンテナンスが容易なものである方が好ましい事から、本製品は構造材として、建築資材、道路用材としても幅広く使用されており高強度かつ耐久性にも優れているアルミ材を採用している。





2-2　設計条件

木道を検討するにあたって、下記の設計条件を満たす性能を有するものが望ましい。

表 1-1　設計基準

	標準部・スロープ部	階段部
有効幅員	1.2m以上	1.2m以上
勾配	縦断８%以下・横断２%以下	蹴上げ 15cm 以下・路面 30cm 以上
水平部分	高さ 75cm 以内ごとに 150cm の水平部を設ける	高さ 2.5m 以下ごとに 1.2m の水平部を設ける
手すり	必要に応じて手すりを設ける スロープ部は両側に連続して設置する	両側に連続して設置する

表 1-2　積載荷重

	積載荷重
床板・大引	3.5 KN/㎡ (垂直荷重)
支柱・桁	3.2 KN/㎡ (垂直荷重)
風荷重	地域によって異なる (水平荷重)
地震力	2.8 KN/㎡ (水平荷重)

※表1-1　(社)日本公園緑地協会著「ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり」引用
※表1-2　建築基準法施行令引用



2-3　材料の選定

本製品の検討を実施する際に、上記事項で述べた設計基準及び設計荷重から荷重値を算出し、各部材がその荷重に耐えうる材質を選定することが必要である。床材に関しては、基本的に再生木材とするが、発注者と協議のうえ決定する。

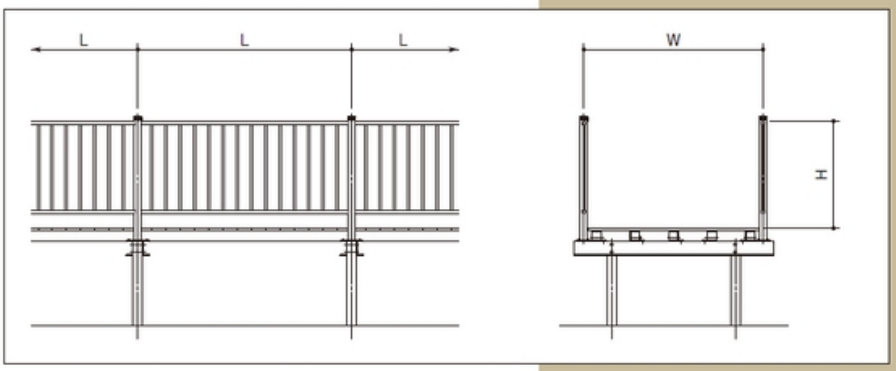
2-4　アルミ製木道使用材料

本製品の主要部材に使用されるアルミニウム合金の規格値は下記の通りとする。

表 1-3　アルミニウム合金材の規格値

名称	規格番号	材質	耐力　N/mm2	部材名
アルミニウム合金板	JIS　H　4000	A5083P	110 以上	F/PL・G/PL
アルミニウム合金押出型材	JIS　H　4100	A6061S-T6	210 以上	支柱
		A6N01S-T5	175 以上	桁・大引
		A6063S-T5	110 以上	手すり

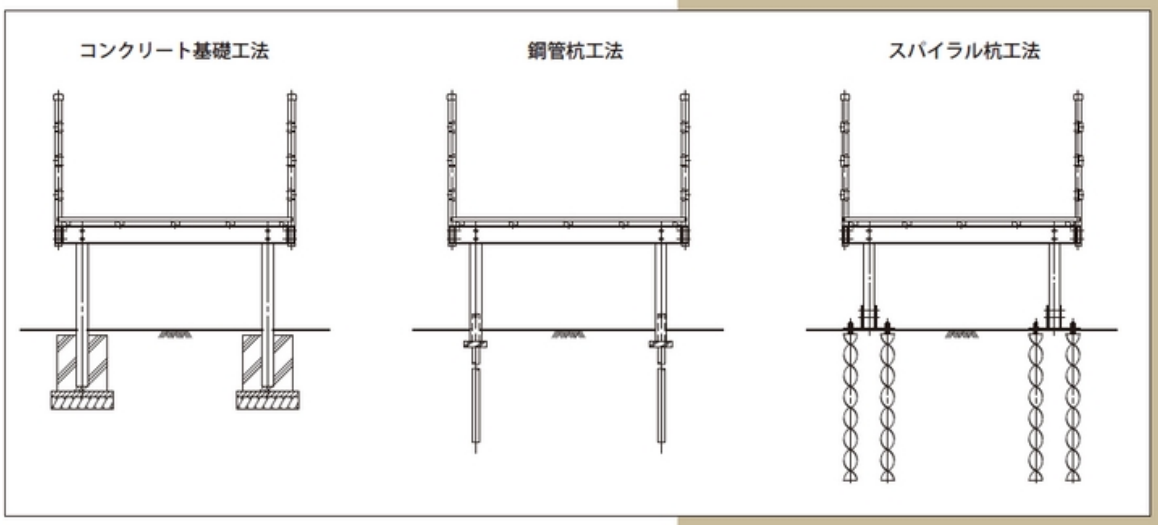
2-5　参考図面





2-6　定着部一般

定着部は、設置する地盤の形状、土質条件または定着するコンクリートの強度が不十分であると製品や定着部の破損などが生じ、機能を著しく低下させることが懸念されるため、土質条件や構造物の耐力などを十分に検討する必要がある。
定着方法としてコンクリート基礎方式と杭基礎方式がある。







2-6-1　コンクリート基礎方式

現場にて型枠を組みコンクリートを打設する方式で、土質条件等が悪い場合でも、コンクリートの容積を増やすことによって対応可能であるため、一般に多く採用されている方式。しかし、本製品を設置する場所は山間部等の車の寄せ付けが困難な場所も多く、人力で作業を行うとなると工期がかかり費用が多くかかることとなり不経済となってしまう。





2-6-2　杭基礎方式

支柱設置箇所に杭（鋼管）を油圧式小型電動工具にて打ち込んで定着させる方式で、人力での作業や運搬に限定される場所に関しては非常に効果的であり、コンクリート基礎方式に比べ施工性も良く材料はメッキ鋼管のみなので、安価な施工方法でもある。ただし、軟弱地盤で支持地盤の悪い場合では施工は不可能となる。（通常防護柵の土中打込みの地質条件 N 値 10 程度）しかし、杭（鋼管）基礎方式よりは高価になるが、スパイラル杭工法（GT スパイラル社特許）というものがあり、この工法も人力での作業で行うことができ、軟弱地盤の場合での施工も可能である。







防護柵

3-1 一般

転落防止のための安全柵の高さは、落差２m以上の場合は 1.1m以上とし、車いす使用者等の視界を妨げない素材、形状とすることが望ましい。

3-2 設計条件

転落防止のための防護柵であれば高さ1.1m以上を基本とする。設計強度に関しては、P種またはSP種とし発注者側と協議し決定することとする。P種およびSP種の設計強度は下記表-4の通りである。

表-1-4 防護柵の設計強度

種別	設置目的	設置高さ	支柱間隔	垂直荷重	水平荷重
P 種	転落防止柵	1.1m	3.0m	590N/m	390N/m
SP 種	転落防止柵	1.1m	1.5 ～ 2.5m	980N/m	2,500N/m

3-3 構造

本製品での防護柵は、耐久性に優れ維持管理が容易なものが良いということから基本としてアルミを使用するものとする。

手すり

4-1 一般

・階段、踊り場およびスロープには手すりを設置することが望ましい。
・身体障害者、老人、幼児の通行が多く予想される区間に関しては、階段等以外にも手すりを設置することが望ましい。

4-2 構造

本製品は基本として耐久性が良く、鋼材、ステンレス鋼材と比べ熱伝導率の低いアルミ材を使用するものとする。

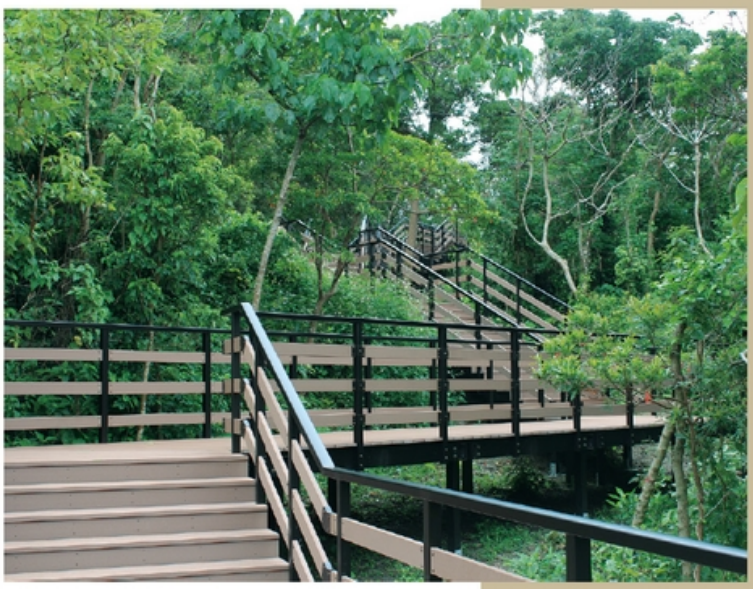




落差のある斜面や、ごつごつとした岩場は、簡単に上り下りができません。特に水たまりやぬかるんだ自然の路を歩くことは小さな子供や、お年寄りには大変な事です。

自然を生かしながら人に優しい自然遊歩道。

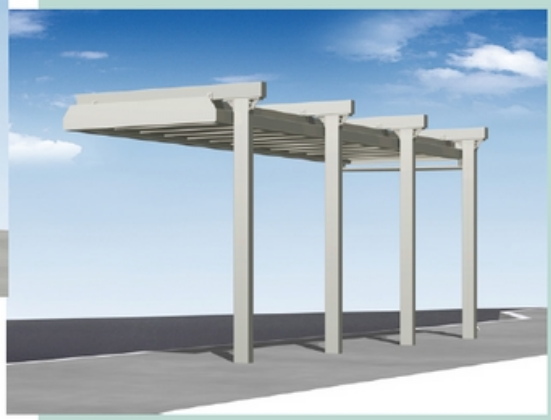
床材は廃木材と廃プラスチックの材料を使用した材料であり、また、骨材や手摺に使用される材料はアルミニウム合金材でリサイクルの容易な素材です。環境に優しく、もし撤去された後も再度リサイクルによって新たな素材に生まれ変われる素材を使ってます。





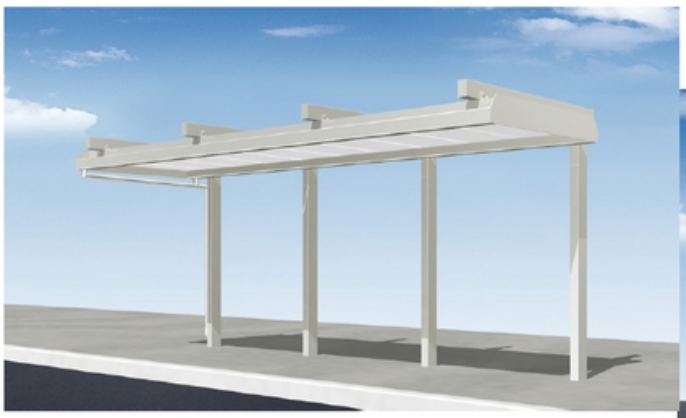
シェルター

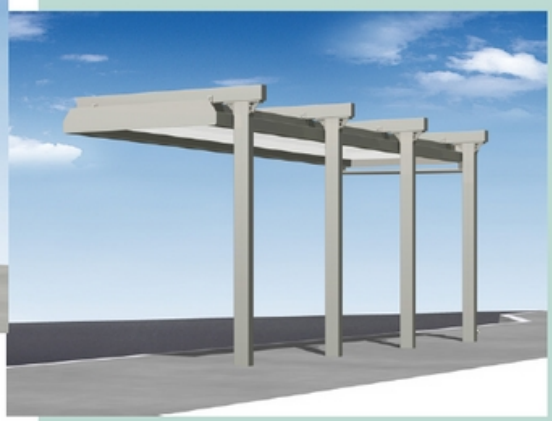












シェルター実績



駅又はバス乗り場等の公共交通機関を利用した移動の利便性向上のため設置されます。
ラインナップとしましては、安価なスチール製のものから防食性の高いアルミ製を取り揃えております。
また、オプションとして利用者を風から守るためのフェンスやベンチ等も取付可能となっております。





















営業品目

- 道　路……防護柵・車止め・目隠しフェンス・バスシェルター・照明・カーブミラー
- 公　園……パーゴラ・ベンチ・テーブル・合成木材製品
- 橋　梁……車両用防護柵・高欄・ハンドレール・親柱
- エクステリア…門扉・フェンス・引き戸
- サイン……誘導標識・案内標識・距離標
- 上下水道……手摺・転落防止柵
- その他……スチール・ステンレス・アルミ・鋳物など材質を問わず企画から納入まで

会社概要

- 商　　号：株式会社バスター
- 資 本 金：3,000万円
- 所 在 地：〒820-0201 福岡県嘉麻市漆生1111番地24（本社・工場）
  TEL：0948-42-0777　FAX：0948-43-1427
- 登　　録：建設業許可 福岡県知事 許可（般-20）第98828号
  土木・鋼構造物工事業　とび・土工
- 取引銀行：飯塚信用金庫　稲築支店
- 事業内容：歩行者及び自転車用防護柵・手摺・車止・フェンス等の道路施設の設計・販売
  橋架の親柱・高欄並びに照明灯・床材等の橋上修景施設の設計・製作・施工・販売
  モール・コミュニティ道路等の都市修景施設の設計・製作・施工・販売
  建築物・工作物の設計・監理
  土木工事・建築工事・とび・鋼構造物工事の請負・設計施工及び監理
  上記に附帯する一切の業務









Pusta



高欄
高欄兼用車輌用防護柵
車輌用防護柵
手摺
投下防止柵
転落防止柵・横断防止柵
フェンス・門扉・デッキ・ルーバー

福岡県嘉麻市漆生1111-24
TEL 0948-42-0777
FAX 0948-43-1427
E-MAIL：eigyou@pusta.co.jp